

学習項目の要素の記述について

(凡例)
 ●: 基本的な生活基盤を形成するために、来日間もない外国人にとって、基本的に不可欠であると考えられる「生活上の行為」の小分類、又は安全にかかわる（緊急性がある）「生活上の行為」の小分類のいずれかに該当すると考えられるものを示す。
 ★: 基本的な生活基盤の形成に不可欠であり、かつ複雑なコミュニケーションを必要とせず、外国人が主体的に動くことが必要とされる「生活上の行為」の事例、又は安全にかかわる（緊急性がある）「生活上の行為」の事例のいずれかに該当すると考えられるものを示す。
 ☆: 「★」と同旨の事例のうち、「理解すること」が求められる「生活上の行為」の事例に該当すると考えられるものを示す。

小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能								
				場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く					
01 医療機関で治療を受ける●																			
0101	適切な医療機関の選択をする																		
	0101060 ★ 隣人に容態を伝えて助言を求める		隣人に症状を伝えることができる 隣人に適切な医療機関の助言を求めることができる 隣人に適切な医療機関の所在を聞くことができる	家庭	隣人	病院へ行きたいが、どの病院に行ったらいいかわからない	A1: ひざが痛いんですが、どの病院に行ったらいいですか。 B1: ○○に整形外科がありますよ。 A2: 耳が痛いんですが、どの病院に行ったらいいですか。 B2: 耳が痛いなら、耳鼻科に行ったらいいですよ。	終助詞 か (疑問) 終助詞 よ (主張) 指示詞 どこ (疑問) (場所) 格助詞 に (到着点) 格助詞 に (場所) 格助詞 が (状態の対象) 名詞修飾 の 動詞タ形+ら いい 接続助詞 が 接続助詞 なら 形容詞普通形+の です (説明)	情報要求 情報提供 情報要求 情報提供	ひざ[体の部位] 痛い どこ 病院 行く 整形外科[診療科目] 場所(例: 駅の前) ある 耳[体の部位] 耳鼻科[診療科目]	○	○							
0102	問診表に記入する																		
	0102010 ★ 初診受付で手続きをする		初診であることを伝えることができる 保険証についての質問が理解できる 問診表の記載事項が理解できる 問診票などに住所、氏名、症状などを記入することができる	病院 診療所	受付の人	初めて行った病院で診察の手続きをする	A1: あおう、初めてなんです。 B1: 初診ですね。こちらの問診表に記入してください。 B1: 保険証はありますか。 A1: (記入事項について) ここには何を書くんですか。 A1: (記入事項について) これはどういう意味ですか。	間投詞 あおう (呼び掛け) 終助詞 ね (確認) 終助詞 か (疑問) 格助詞 に (場所) 格助詞 を (対象) 指示詞 こちら (場所) 指示詞 ここ (場所) 指示詞 何 (疑問) (種別) 指示詞 これ (眼前指示) 取り立て助詞 は (提題) 動詞テ形+ください 副詞+の です (説明) どう (疑問)	注目要求 情報提供 単独行為要求 情報要求 言い直し要求	あおう 初めて 初診 こちら 問診表 保険証 ここ 何 これ どう 意味	○	○	○	○					
0103	医者の説明・指示を理解し、応答する																		
	0103010 ★ 医者の診察を受ける		症状を伝えることができる 医者の診察、指示が理解できる	病院	医者	診察を受ける	B1: どうしましたか。 A1: 昨日から頭が痛いんです。 B1: 口を大きく開けてください。 なぜですね。5日分の薬を出しておきます。 B2: どうしましたか。 A2: 転んで、足首が痛いんです。 B2: ねんざですね。今日はお風呂に入らないでください。	疑問詞 どう (方法) 終助詞 か (疑問) 終助詞 ね (?) 格助詞 から (起点) 格助詞 が (状態の対象) 格助詞 に (到着点) 格助詞 を (対象) 動詞テ形 (原因) 名詞修飾 の	情報要求 情報提供 単独行為要求	どう する 昨日 頭[体の部位] 痛い 足首[体の部位] 口[体の部位] 大きい 開ける なぜ	○	○							

小分類	事例1 (上位項目) 事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能			
			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く
						動詞テ形＋ください 動詞テ形＋おく 取り立て助詞 は (提題) 動詞ナイ形＋てください 助数詞 日分 接頭辞 お (美化語) い形容詞の語幹＋く 形容詞普通形＋のです (説明)		～日分 薬 出す ねんざ 今日 (お)風呂 入る					
	0103120 ★ 病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する	病気への対処法・生活上の注意を尋ねる 病気への対処法・生活上の注意を理解できる	病院	医者	病気への対処法や生活上の注意点について質問したい	A1: お風呂に入っても大丈夫ですか。 B1: 今日はお風呂に入らないでください。 B2: 毎日湿布を貼り替えてください。 B3: 来週また来てください。	接頭辞 お (美化語) 格助詞 に (到着点) 格助詞 を (対象) 終助詞 か (疑問) 接続助詞 ても (逆説仮定) 動詞テ形＋ください 動詞ナイ形＋てください 取り立て助詞 は (提題)	情報要求 単独行為要求	(お)風呂 入る 大丈夫だ 今日 毎日 湿布 張り替える 来週 また 来る	○	○		
02 薬を利用する ●													
0201	処方せんを持って薬局へ行く												
	0201020 ★ 医療機関で処方せんをもらい、内容を確認する	処方せんが何であるかを理解する 処方せんを受け取り、指示を理解する	病院 診療所	受付の人 看護師	医療機関で受け取った書類が何か分からないので、質問し、次にするべき行動を知る	B1: 薬が出ています。これは処方せんです。 A1: 処方せん? B1: はい、薬局でこれを出すと、薬が買えます。 A1: 薬局はどこにありますか。 B1: 薬局はこの病院の隣にあります。	終助詞 か (疑問) 格助詞 が 格助詞 で (場所) 格助詞 を (対象) 格助詞 が (状態の対象) 格助詞 に (場所) 取り立て助詞 は (提題) 辞書形＋と (順接恒常条件) 動詞可能形 動詞テ形 いる (存在) 指示詞 これ (眼前指示) 指示詞 どこ (場所) (疑問) 連体詞 この (眼前指示) 名詞修飾 の はい (返答)	情報提供 情報要求 情報提供 情報要求 情報提供	薬 出る これ 処方せん はい 薬局 買う どこ ある 隣	○	○	○	
0202	薬局・薬店を利用する												
	0202050 ★ 症状を説明し、薬を求める	どんな症状があるかを説明することができる 薬剤師等の質問に答えることができ どんな薬が欲しいか伝えることができ 薬のラベルなどで確認ができる	薬局・薬店 コンビニ	薬剤師 販売員	症状を説明する 必要な薬を買いたい	A1: 筋肉痛の薬が欲しいんですが。 B1: 貼り薬と塗り薬がありますが、どちらがいいですか。 A1: 貼り薬をください。	～んですが (言いさし) 指示詞 どちら (疑問) (選択) 格助詞 を (対象) 授受動詞 くださる	情報提供 情報要求 単独行為要求	筋肉痛 薬 欲しい 貼り薬 塗り薬 ある どちら いい ください	○	○	○	
0203	薬の説明を理解し、適切に利用する												
	0203070 ★ 薬剤師等の「効能、用法、注意」の説明を理解する	効能や用法についての説明を理解できる 不明な点について質問することができる 薬の表示などで確認ができる	薬局・薬店	薬剤師 販売員	薬を使う上で、効能・用法・注意を知りたい	B1: この薬は1日3回、食間(／食前／食後)に飲んでください。 A1: 食間? B1: 食事と食事の間(／食事の前／食事の後)に飲んでください。	動詞テ形＋ください ～と～の間	単独行為要求 情報要求	薬 ～日 ～回 食前(／食前／食後) 飲む 食事 間 前	○	○	○	

小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能			
				場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く
										後				
03 健康に気を付ける●														
0301 病気を予防する														
	0301090 ★ 流行性の病気についての情報を理解し適切に対処する		流行性の病気の予防方法を聞くことができる 回覧板や掲示を読んで理解することができる ニュースを聞いて情報を理解することができる	病院・医院 保健所 家庭	医師 看護師 保健所係員 友人 同僚	病気が流行している 予防の方法を知りたい	A1: インフルエンザのワクチン(予防接種)はどこで受けられますか。 B1: 病院に予約すれば受けられます。	取り立て助詞 は(提題) 指示詞 どこ(疑問)(場所) 助動詞 られる(可能) 終助詞 か(疑問) 格助詞 に 接続助詞 ば	情報要求 情報提供	インフルエンザ ワクチン(予防接種) どこ 受ける 病院 予約	○	○	○	
0302 衛生管理をする														
	0302010 ★ 食品や飲料水の安全情報を理解する		食品や飲料水の安全について聞くことができる 表示やラベルなどで確認することができる	家庭 店	家族 店員 知人 友人	食品が安全か知りたい 飲料水が安全か知りたい	A1: この漬物は、もう食べられませんか。 B1: 賞味期限は一昨日ですが、大丈夫でしょう。 A1: そうですか。 B1: 消費期限でなく賞味期限だから、大丈夫でしょう。	指示詞 この 助動詞 られる(可能) もう ~ない 終助詞 か(疑問) 接続助詞 が 助動詞未然形 だろ + 助動詞 う 副詞 そう 接続詞 だから	情報要求 情報提供	この 漬物 食べる 賞味期限 一昨日 大丈夫 消費期限	○	○	○	
04 事故に備え、対応する●														
0401 事故を回避する(各種の標識・注意書き等を理解する(高電圧危険、感電注意、立入禁止等))														
	0401030 ★ 各種の標識・注意書き等を理解する(高電圧危険、感電注意、立入禁止等)		標識や注意書きを読み取り、意味理解ができる 意味を理解し、それに適した適切な行動が取れる	公園 建物内 道 神社・寺 学校 職場		適切な行動をとる 身の安全を図る マナーを守る	A1: (立入禁止の標識を見て)これは、どういう意味ですか。 B1: それは、ここに入ってはいけない、という意味ですよ。	終助詞 か(疑問) 動詞テ形+はいけない(命令) という	情報要求 情報提供	意味 入る ここ	○	○	○	
0402 防犯対策(施錠等)を行う														
	0402030 ★ 有効な施錠の仕方について理解する		購入した鍵の説明書が理解できる 知人や友人に、疑問点を質問したり確認したりできる	自宅 職場	家族 知人 友人	身を守る 適切な行動を取る	B1: 鍵を掛けてからこのチェーンをしてください。 A1: はい、分かりました。	接続詞 から 動詞テ形+ください	情報提供 注目表示(同意)	鍵 掛ける この チェーン する 分かりました	○	○		
0403 防犯に対処する														
	0403020 ★ 警察(110番)に電話する		状況を明確に伝えることができる 警察官の質問や指示を理解し、適切な受け答えができる	自宅	警察官	緊急事態が発生する 身の安全を確保する 問題を解決する	B1: 何がありましたか。事件ですか、事故ですか。 A1: 事件です。泥棒が入ったんです。 B1: いつですか。 A1: 帰って来たら、鍵が開いていたんです。 B1: なくなったものは、ありますか。 A1: はい、10万ぐらい、お金を盗まれました。 B1: そうですか。じゃ、あなたの名前と住所、それから電話番号を教えてください。	終助詞 か(疑問) 疑問詞 どう 疑問詞 いつ んです 動詞語幹+られる(受身) 動詞テ形+ください 動詞テ形+きたら	情報要求 情報提供	泥棒 入る 帰る 鍵 開く お金 なくなる 盗む 名前 住所 電話 番号 教える	○	○		
	0403040 ★ 近くの人に知らせる		隣人や近くの人に、状況説明ができる	自宅	近くの人	近くの人に助けを求めたい	A1: ちょっと、あの人を追い掛けてください。	動詞テ形+ください	注目要求	ちょっと	○	○		

小分類	事例1 (上位項目) 事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能			
			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く
		起こったことを順序立てて説明ができる	路上 職場			B1: え、どうしたんですか。 A1: バッグを取られたんです。	動詞+んです (説明) 動詞語幹+れる/られる (受身)	単独行為要求 (依頼) 情報要求 情報提供	あの 人 追い掛ける どうしたんですか バッグ 取る				
0404 交通事故に対処する													
	0404020 ★ 救急車を要請する	交通事故の発生場所と状況を伝えることができる 自分の名前と電話番号を伝えることができる	路上	消防署の人	交通事故に遭い、けが人が出たため、救急車を要請したい	A1: (119番に電話を掛ける) もしもし。 B1: 119番, ○○消防署です。火事ですか、救急ですか。 A1: 救急です。交通事故で、妻が頭にけがをしました。 B1: どのような様子ですか。 A1: 出血はしていませんが、痛がっています。 B1: 場所はどこですか。(何区(市)何町, 何番地ですか。) A1: ○○区(市)の△△公園の前です。 B1: あなたの名前と電話番号を教えてください。 A1: 名前は○○です。電話番号は090-123-456です。	終助詞 か(疑問) 格助詞 で(原因) 格助詞 が(主格) 格助詞 に(対象) 格助詞 を(対象) 接続助詞 と(並列) 取り立て助詞 は(提題) 名詞修飾 の 疑問詞 どんな(種類) 接続助詞 が(逆説) 指示詞 どこ(疑問)(場所) 動詞テ形+ください 動詞テ形+いる(継続) 形容詞語幹+がる	儀礼/談話表示 儀礼(名のり) 情報要求 情報提供 情報要求 情報提供 情報要求 情報提供 情報要求/単独行為要求 情報提供	もしもし ～番 消防署 火事 救急 交通事故 妻 頭 けが する どんな 様子 出血 痛い 場所 どこ 区(市) 公園 前 あなた 名前 電話番号 教える	○	○		
	0404070 ★ 近くの人に知らせる	交通事故に遭ったとき、通行人に状況を説明できる 通行人に支援を要請できる	路上	通行人	交通事故に遭い、通行人に支援を要請したい 交通事故を目撃し、通行人に対処を要請したい	A1: 助けてください。交通事故です。 B1: どうしたんですか。 A1: その横断歩道で、妻が車にはねられて、意識がないので B1: 救急車を呼びますか。 A1: お願いします。 A2: 大変です。交通事故です。 B2: どうしたんですか。 A2: その交差点で、車とバイクがぶつかったんです。 B2: けが人は? A2: バイクの人は頭から出血しています。 B2: 分かりました。すぐ救急と警察に電話しましょう。 A2: お願いします。	終助詞 か(疑問) 格助詞 が 格助詞 で 格助詞 に 格助詞 が 格助詞 を 動詞テ形+ください 普通形+んです(説明) 動詞受身形 動詞テ形 (原因) 終助詞 か(疑問) 格助詞 で(場所) 格助詞 が(主語) 格助詞 から 格助詞 に 接続助詞 と(並列) 取り立て助詞 は(提題) 名詞修飾 の 動詞マス形+ましょう 普通形+んです(説明) 動詞テ形+いる(結果)	単独行為要求 情報要求 情報提供 注目表示(確認) 単独行為要求 注目要求 情報提供 情報要求 情報提供 情報要求 情報提供 注目表示(同意) 意思表示 注目表示(同意)	助ける 交通事故 する そこ 横断歩道 妻 車 はねる 意識 救急車 呼ぶ お願いする 大変な 交通事故 する 交差点 車 バイク ぶつかる けが人 人 頭 出血 すぐ 救急 警察 電話 お願いする	○	○		

小分類	事例1 (上位項目) 事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能				
			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く	
05 災害に備え、対応する●														
0501 避難場所・方法を確認する														
	0501020 ★ 自治体広報、掲示、看板等を理解し、現地を確認する	<p>広報、掲示板等の説明を読んで理解する</p> <p>避難場所の位置を地図(略図)で理解する</p> <p>分からないことを人に質問して確認できる</p>	<p>家庭</p> <p>町内の掲示場所</p> <p>家の付近</p>	<p>家族</p> <p>隣人</p>	<p>災害時に備えて避難場所の位置や行き方を確認したい</p>	<p>A1: 災害のときの避難場所が広報に書いてありましたが、「○○大学グラウンド」というのはどこですか。</p> <p>B1: 市役所のそばにある大きな運動場が、○○大学グラウンドですよ。</p>	<p>格助詞 が</p> <p>接続助詞 が</p> <p>形式名詞 の</p> <p>指示詞 どこ (疑問) (場所)</p> <p>終助詞 か (疑問)</p> <p>格助詞 よ</p> <p>格助詞 の</p> <p>格助詞 に</p> <p>動詞テ形+ある</p> <p>格助詞 と</p>	<p>情報要求</p> <p>情報提供</p>	<p>災害</p> <p>とき</p> <p>避難場所</p> <p>広報</p> <p>書く</p> <p>大学</p> <p>グラウンド</p> <p>市役所</p> <p>そば</p> <p>大きな</p> <p>運動場</p>	○	○	○		
	0501030 ★ 避難場所・方法を理解する・人に聞く	<p>避難方法の注意書きを読んで理解できる</p> <p>避難方法について人に質問して理解できる</p>	<p>家庭</p> <p>町内の掲示場所</p> <p>家の付近</p>	<p>家族</p> <p>隣人</p>	<p>避難の方法を知りたい</p>	<p>A1: 地震や災害のときは、○○大学グラウンドに避難すればいいんですね。</p> <p>B1: ええ。でも、地震の揺れが収まるまでは外に出ないほうがいいですよ。</p> <p>A1: 何か落ちてきたり、崩れてきたりすると、危ないですね。</p> <p>B1: できれば近所の人も声を掛け合って、一緒に行けるといいですね。</p>	<p>取り立て助詞 は (提題)</p> <p>接続助詞 ば</p> <p>終助詞 ね</p> <p>終助詞 よ</p> <p>接続助詞 と</p> <p>格助詞 や</p> <p>格助詞 の</p> <p>格助詞 に</p> <p>の+だ</p> <p>応答詞 ええ</p> <p>接続助詞 でも</p> <p>格助詞 が</p> <p>副助詞 まで</p> <p>取り立て助詞 は (提題)</p> <p>副助詞 か</p> <p>動詞テ形+くる</p>	<p>同意要求</p> <p>注目表示</p> <p>単独行為要求</p> <p>情報提供</p>	<p>地震</p> <p>災害</p> <p>とき</p> <p>大学</p> <p>グラウンド</p> <p>避難</p> <p>揺れ</p> <p>収まる</p> <p>外</p> <p>出る</p> <p>落ちる</p> <p>危ない</p>	○	○	○		
	0502010 ☆ 地震について理解する													
	0502020 ★ 身を守る	<p>身の守り方について説明を読んで理解できる</p> <p>身の守り方について人に質問して理解できる</p>	<p>家庭</p> <p>家の付近</p> <p>学校</p> <p>職場</p>	<p>家族</p> <p>隣人</p> <p>友人</p> <p>教師</p> <p>同僚</p>	<p>地震の際どうするか知りたい</p>	<p>A1: 地震のときは、台所の火を消して、火事を防ぐことが一番ですか。</p> <p>B1: ええ。それと、ドアや窓など外に避難できる出口を作ることも大切ですね。</p> <p>A2: 夜中に地震がくると危ないので、寝室にタンスを置かないことにしました。</p> <p>B2: 昼間でも、倒れやすい家具のそばから離れないと、危ないですよ。</p>	<p>取り立て助詞 は (提題)</p> <p>格助詞 の</p> <p>格助詞 を</p> <p>格助詞 が</p> <p>終助詞 か (疑問)</p> <p>格助詞 に</p> <p>副助詞 も</p> <p>終助詞 ね</p> <p>接続助詞 と</p> <p>接続助詞 ので</p> <p>副助詞 でも</p> <p>格助詞 から</p> <p>終助詞 よ</p> <p>応答詞 ええ</p> <p>格助詞 と</p> <p>格助詞 や</p>	<p>情報要求</p> <p>注目表示</p> <p>情報提供</p> <p>単独行為要求</p>	<p>地震</p> <p>とき</p> <p>台所</p> <p>火</p> <p>消す</p> <p>火事</p> <p>防ぐ</p> <p>一番</p> <p>ドア</p> <p>窓</p> <p>外</p> <p>避難</p> <p>出口</p> <p>作る</p> <p>大切</p> <p>夜中</p> <p>危ない</p> <p>寝室</p> <p>タンス</p> <p>置く</p> <p>昼間</p> <p>倒れる</p> <p>家具</p>	○	○	○		

小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能				
				場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く	
										そば 離れる					
0503	台風発生時に適切に行動する														
	0503010 ☆ 台風について理解する														
	0503020 ★ 天気予報・台風情報に留意し理解する	新聞やラジオ・テレビの気象情報を理解できる 台風について人に質問して理解できる	家庭 家の付近 学校 職場	家族 隣人 友人 教師 同僚	台風の情報を知りたい	A1: テレビで台風が来ると言っていますが、今夜来るんですか。 B1: 明日の午前中に暴風域になるそうです。外出しないほうがいいですよ。	格助詞 で 接続助詞 が 格助詞 と 動詞テ形+いる 接続助詞 が 指示詞 か (疑問) 格助詞 に 助動詞 そうだ 終助詞 よ	情報要求 情報提供 単独行為要求	テレビ 台風 来る 言う 今夜 明日 午前中 暴風域 外出する		○	○	○		
0504	火災発生時に適切に行動する														
	0504050 ★ 消防・救急(119番)や警察(110番)に電話する	119番に電話を掛けることができる 火事の発生場所と状況を伝えることができる 自分の名前と電話番号を伝えることができる	家庭 職場 路上	消防署の人	火事が発生したことを知らせ、消防車を要請したい	A1: (119番に電話を掛ける) もしもし。 B1: 119番, ○○消防署です。火事ですか、救急ですか。 A1: 火事です。 B1: 場所はどこですか。(何区(市)何町, 何番地ですか。) A1: ○市△町3丁目の85番です。 B1: 何が燃えていますか。 A1: ラーメン屋から火が出ています。 B1: 分かりました。すぐ出動します。あなたの名前と電話番号を教えてください。 A1: 名前は○○です。電話番号は090-123-456です。	終助詞 か(疑問) 格助詞 が(主語) 格助詞 から(起点) 格助詞 と(並列) 格助詞 を(対象) 取り立て助詞 は(提題) 動詞テ形+ください 名詞修飾 の 指示詞 何 (疑問)	儀礼/談話表示 儀礼(名のり) 情報要求 情報提供 情報要求 情報提供 情報要求 注目表示 意思表示 情報要求 情報提供	もしもし ～番 消防署 火事 救急 場所 区(市) 町 ～番地 ～丁目 番 何 燃える ラーメン屋 火 出る 分かる すぐ 出動 あなた 名前 電話番号 教える		○	○			
06	住居を確保する●														
0601	住居を探す														
	0601060 ★ 不動産業者に相談する	住居について希望や条件を伝えることができる 不動産業者の説明を聞いて理解でき 不動産の情報を読んで理解できる	不動産業者 物件の現地	不動産業者	住居を見付けたい 不動産の情報を得たい	A1: 一人用のアパートで、家賃5万円ぐらいのところはありませんか。 B1: これはどうですか。木造ですが、日当たりはいいですよ。 A1: 駅からは遠いですか。 B1: 歩いて20分ぐらいですね。	格助詞 の 格助詞 で 取り立て助詞 は(提題) 終助詞 か(疑問) 指示詞 どう(疑問) 接続助詞 が(逆接) 終助詞 よ 終助詞 ね	情報要求 単独行為要求 情報提供			○	○			
	0601090 ★ 居住する地域を選択する	不動産の情報を読んで理解できる 知人や友人から必要な情報を得ることができる	不動産業者 自宅 職場	不動産業者	居住地を決めたい 居住希望地域の情報を得たい	B1: この地域は、近くに大きな公園がありますよ。 A1: いいですね。じゃ、この辺で探します。	形容詞ク形+に 終助詞 よ(主張) 終助詞 ね(確認) 格助詞 で(場所)	情報提供 意思表示 談話表示 情報提供	この 地域 近く 大きな 公園 ある いいですね じゃ		○	○			

小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能				
				場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く	
0602	契約する	0602040 ★ 賃貸契約をする	<p>契約書の内容を読んで理解できる</p> <p>契約に必要な書類をそろえることができる</p> <p>契約に関する疑問点を質問できる</p>	不動産会社	不動産業者	賃貸契約をしたい	<p>A1: この部屋に決めました。</p> <p>B1: じゃ、この契約書に必要事項を記入してください。</p> <p>A1: はい。</p>	<p>格助詞 に (到着点)</p> <p>格助詞 に (到着点)</p> <p>格助詞 を (対象)</p> <p>動詞テ形+ください</p>	<p>情報提供</p> <p>談話表示</p> <p>単独行為要求</p> <p>注目表示 (同意)</p>	<p>この辺探す</p> <p>この部屋</p> <p>決める</p> <p>じゃこの契約書必要事項記入する</p>	○	○	○	○	
0603	引越しをする	0603070 ★ 引越し業者に依頼する	<p>一定の条件を示して、依頼する事項を正しく伝えることができる</p> <p>依頼事項に関する業者の返答が理解できる</p>	自宅 (電話)	引越し業者	引越しの予定がある	<p>B1: ○○引越しセンターでございます。</p> <p>A1: 引越しをお願いしたいんですが…。</p> <p>B1: いつ頃でしょうか。</p> <p>A1: 来月3日の土曜日が、いいんですが…。</p> <p>B1: はい、分かりました。現在の御住所と、お引越し先の御住所をお願いします。</p> <p>A1: 今の住所は、台東区本町…、で、引越し先は、台東区三咲町…です。</p> <p>B1: お荷物は、どれくらいありますか。</p> <p>A1: ダンボールが6箱ぐらいと、あとタンス、机といす、本箱、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、それから自転車が一台です。</p>	<p>疑問詞 いつ</p> <p>疑問詞 どれぐらい</p> <p>んですが… (依頼)</p> <p>名詞+でございます (丁寧語)</p> <p>動詞マス形+たいんですが… (依頼)</p> <p>接頭辞 御 (美化語)</p> <p>接頭辞 お (美化語)</p>	<p>情報要求</p> <p>情報提供</p>	<p>引越しセンター</p> <p>いつごろ</p> <p>現在</p> <p>来月</p> <p>住所</p> <p>荷物</p> <p>段ボール</p> <p>タンス</p> <p>机</p> <p>いす</p> <p>本箱</p> <p>テレビ</p> <p>冷蔵庫</p> <p>洗濯機</p> <p>自転車</p>	○	○			
		0603080 ★ 必要な手続きを行う	<p>手続きに必要な書類について聞くことができる</p> <p>係員の質問に答えることができる</p> <p>転入届の手続きをすることができる</p>	区役所	役所の係員	転入届の手続きをした	<p>A1: 引越しの届けを出したいんですが。</p> <p>B1: 引越しから14日以内に、区役所の外国人登録窓口に来て手続きをしてください。</p> <p>A1: 何を持って行けばいいですか。</p> <p>B1: 外国人登録証明書と旅券を持ってきてください。</p>	<p>名詞修飾 の</p> <p>格助詞 を</p> <p>助動詞 たい</p> <p>の+だ</p> <p>接続助詞 が</p> <p>格助詞 から</p> <p>格助詞 に</p> <p>動詞テ形+ください</p> <p>接続助詞 ば</p> <p>動詞テ形+いく</p> <p>終助詞 か (疑問)</p> <p>格助詞 と</p> <p>動詞テ形+くる</p>	<p>意思表示</p> <p>単独行為要求</p> <p>情報要求</p>	<p>引越し</p> <p>届け</p> <p>出す</p> <p>日</p> <p>以内</p> <p>区役所</p> <p>外国人登録</p> <p>窓口</p> <p>来る</p> <p>手続き</p> <p>何</p> <p>持っていく</p> <p>～ばいい</p> <p>証明書</p> <p>旅券</p>	○	○	○	○	
07	住居を管理する●	0701	電気・ガス・水道等の使用を開始する												
		0701010 ☆ 開始手続きについて理解する													
		0701090 ★ 申し込みをする	<p>電話で必要事項を伝えることができる</p> <p>案内書の内容を読んで理解できる</p>	自宅	業者	電気、ガス、水道を使用するようにしたい	<p>A1: 引越ししてきたので、ガスの開栓をお願いします。</p> <p>B1: お客様のお名前、御住所とお客様番号をお願いします。</p> <p>A1: え、お客様番号?</p> <p>B1: お客様番号は、郵便受けに入っている御案内の葉書に書いてあります。</p>	<p>動詞テ形+くる</p> <p>接続助詞 ので (理由)</p> <p>格助詞 を (対象)</p> <p>接頭辞 お+動詞マス形+します</p> <p>接頭辞 お (尊敬語)</p> <p>取り立て助詞 は (提題)</p>	<p>情報提供</p> <p>単独行為要求</p> <p>単独行為要求</p> <p>言いなおし要求</p> <p>情報提供</p>	<p>引越し</p> <p>ガス</p> <p>開栓</p> <p>お願いします</p> <p>お客様</p> <p>名前</p>	○	○			

小分類	事例1 (上位項目) 事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能											
			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く								
08 物品購入・サービスを利用する●																					
0801 対面販売で購入する																					
	0801020 ★ 必要な品物を扱う店等を探す	知人や友人に店の場所を聞くことができる 知人や友人にどんな店か聞くことができる 電話帳で店を特定することができる 新聞の広告を理解することができる	家庭 職場 学校	家族 友人 知人 同僚 販売員 見知らぬ人	必要なものをどんな店で購入できるか尋ねる 店の所在地や行き方を尋ねる 電話帳を使って店の電話番号を知る 新聞広告から店の場所や行き方を尋ねる	A1: ○○はどこで売っていますか。 B1: ○○は△△で売っています。 A2: ○○はどんな店で売っていますか。 B2: ○○は△△で売っています。	終助詞 か (疑問) 指示詞 どこ (疑問) (場所) 指示詞 どんな (疑問) (種類) 格助詞 で (場所) 動詞テ形+いる	情報要求 情報提供	[商品名] どこ どんな 売る	○	○	○									
	0801030 ★ 目的によって店舗の種類を使い分け ることを知る																				
	0801040 ★ 販売しているところを探す	販売しているところを知ることができる 店の名前や店の種類が分かる	家庭 職場 学校	家族 友人 知人 同僚 販売員 見知らぬ人	店の種類や店舗の特徴 (個人商店、量販店など) を尋ねる	A1: ○○はどこで売っていますか。 B1: ○○は△△で売っています。 A2: ○○はどんな店で売っていますか。 B2: ○○は△△で売っています。 A3: ○○の店はどこにありますか。 B3: ○○は△△で売っています。	終助詞 か (疑問) 指示詞 どんな (疑問) (種類) 指示詞 どこ (疑問) (場所) 格助詞 で (場所) 動詞テ形+いる ある (存在) マス形 格助詞 に (場所) 動詞マス形+ます	情報要求 情報提供	[商品名] どこ 売る ある	○	○										
	0801050 ★ デパート、スーパーマーケット、コンビニ、電器店、書店等で買い物をする	買いたい物を買うことができる	店	販売員	買いたい物を選んで購入する	B1: いらっしゃいませ。 A1: これ、ください。 B1: はい。 B2: いらっしゃいませ。 A2: これ、ください。 B2: かしこまりました。	指示詞 これ (眼前指示) 授受動詞 くださる はい (返答)	関係作り・儀礼 単独行為要求 (依頼) 承認の注目表示	いらっしゃいませ これ ください はい かしこまりました	○	○										
	0801060 ★ 店内の表示を見たり店員に尋ねて欲しいものの場所を探す	買いたい物がどこにあるか聞くことができる 商品名を言うことができる	店	販売員	買いたい物がどこにあるか尋ねる 買いたい物の商品名を伝える	A1: ○○ (コーヒー、薬) はどこにありますか。 B1: あちらにあります。 A2: ○○ (コーヒー、薬) はどこにありますか。 B2: 2階にあります。	指示詞 どこ (疑問) (場所) 指示詞 あちら (方向) 格助詞 に (場所) ある (存在) 終助詞 か (疑問)	情報要求 情報提供	[商品名] [場所] (例: 2階) ある	○	○	○									
	0801080 ★ 売り場を尋ねる	売り場がどこにあるか聞くことができる	店	販売員	売り場の位置を尋ねる 売り場の位置を確認したい	A1: 食品売り場はどこですか。 B1: 地下です。 A2: 食品売り場はどこですか。 B2: 2階にあります。	指示詞 (疑問) (場所) 格助詞 に (場所) 動詞 ある (存在) 名詞 (指示詞) +です 取り立て助詞 は (提題)	情報要求 情報提供	食品売り場 [場所] (例: 2階) 地下 ある	○	○										
	0801100 ★ 店員に商品について尋ねる	希望のサイズを伝えることができる 希望の量を伝えることができる 希望の大きさを伝えることができる 希望の形や特徴を伝えることができる	店	販売員	買いたい物の大きさを伝えたい 買いたい物の数を伝えたい 買いたい物の大きさを伝えたい 買いたい物の形状を表現したい	A1: ○○ (売っているかどうか) はありますか。 A2: 小さいの (異なるサイズ) はありますか。 A3: 安い (異なる値段) はありますか。 B1: すみません。扱っておりませんが。 B2: 今、切らしておりますが。	動詞 ある (存在) 形容詞 形式名詞 の 動詞マス形 動詞テ形+おります 取り立て助詞 は (提題) 終助詞 か (疑問)	情報要求 否定の注目表示	[形容詞、形状・性質] 扱う 切らす	○	○										
	0801130 ★ 値段を知る	商品の値札を見て、値段を理解することができる 商品の値札を見て、税込みの値段かどうかを理解することができる	デパート スーパー マーケット		商品の値段を知りたい 商品の値札に書かれた値段が消費税込みの値段かどうかを知りたい	【説明: 買い物をするときには、商品の値段を確認しましょう。】 例1: 品名 タオルケット 価格 ¥4,000 例2: 品名 即席中華めん 328円 (税込価格)	連体修飾 とき 動詞マス形+ましょう 格助詞 を (対象) 名詞修飾 の		買い物 する とき 確認する ～円 例 ¥ 品名 即席 商品 値段 タオルケット 中華めん 価格 税込				○								

小分類	事例1 (上位項目) 事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能			
			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く
0801140 ★ 商品の機能や値段を尋ねる	商品の機能を尋ねることができる 商品の値段を尋ねることができる	靴屋 デパート	店員	マラソンをするのに適当な運動靴を買いたい	A1: マラソン用の運動靴はどれがいいですか。 B1: これはいかがですか。軽くていいですよ。 A1: 履きやすいですね。これはいくらですか。 B1: 9,000円です。 A1: じゃ、これをください。	連体修飾 ~用 (使用目的) 格助詞 が (総記) 形容詞テ形 動詞マス形+形容詞やすい 格助詞 を (対象) 終助詞 か (疑問) 終助詞 よ (主張) 終助詞 ね (確認) 名詞、形容詞+です 取り立て助詞 は (提題) 名詞修飾 の	情報要求 単独行為要求 (勧告) 意思表示 情報提供 単独行為要求 (依頼)	マラソン ~用 運動靴 どれ いかが いくら 軽い 履く ~やすい これ じゃ いい	○	○			
0801150 ★ 商品の表示を読む	食品に書かれた材料、産地、賞味期限などを読み取ることができる	スーパー マーケット		簡単に作れる味噌汁を 買いたい 魚料理を作りたいの で、材料の魚を買い求 めたい	【説明：食品には材料、賞味期限、産地などが書かれています。】 例1: 名称-即席みそ汁、原材料-米みそ わかめ 食塩 砂糖、 賞味期限-2010.1.22 例2: ふり-長崎 628円 (税込) 消費期限-2009.10.21 加工 日-2009.10.19	格助詞 に (場所) 副助詞 など 格助詞 が (叙述) 動詞受身形 動詞テ形+いる		食品 材料 賞味期限 消費期限 原材料 ぶり 名称 わかめ 加工 食塩 日 みそ汁 砂糖 即席 産地 米みそ 長崎			○		
0801160 ★ 値段・税率を計算する	商品の消費税を確認することができる	デパート 洋服屋	店員	スーツを買いにデパート へ行く 気に入ったスーツの値 段を確認する	A1: このスーツはいくらですか。 B1: こちらは39,900円です。 A1: 税込みですか。 B1: はい、5%の消費税が含まれています。	動詞受身形 動詞テ形+いる 取り立て助詞 は (提題) はい (返答)	情報要求 情報提供	スーツ いくら ~円 税込み ~% (パーセント) 消費税 含む この こちら	○	○			
0801190 ★ 試着を申し出る	店員を呼ぶことができる 試着を申し出ることができる	デパート	店員	買いたい衣服が身体に 合うか試着をしたい	A1: すみません。これを着てみてもいいですか。 B1: はい、御試着ですね。こちらでどうぞ。	格助詞 を (対象) 動詞テ形+みる 動詞テ形+もいい 終助詞 か (疑問) 接頭辞 御 (尊敬語) 終助詞 ね (確認) 格助詞 で (場所)	注目要求 同意要求 単独行為要求 (勧告)	すみません これ 着る はい 試着 こちら どうぞ	○	○			
0801200 ★ 色違いのものを頼む	好きな色の商品を選ぶことができる	デパート	店員	商品の形は気に入った が、色が好みではな かった	A1: すみません。ほかの色はありますか。 B1: はい。紺とベージュがございます。 A1: じゃ、見せてください。 B1: 今お持ちします。こちらでございます。	動詞テ形+ください お+動詞マス形+します (謙譲語 I) 動詞丁寧形 ございます (ある、です) 終助詞 か (疑問) 動詞テ形+ください	情報要求 情報提供 単独行為要求 (依頼) 注目表示 (承認) 情報提供	ほか 色 ある はい ベージュ こちら 今 持つ 見せる すみません じゃ 紺	○	○			
0801210 ★ サイズの変更を申し出る	自分に合うサイズの商品を選ぶことができる	デパート	店員	試着した服が自分のサ イズと合わないの で、他のサイズの服に取り 替えたい	B1: お客様、いかがですか。 A1: ちょっと小さいです。もっと大きいサイズはありますか。 B1: はい。少々お待ちください。こちらは13号です。 A1: ちょうどいいです。	接頭辞 お (尊敬語) お+動詞マス形+ください (尊敬語) 名詞+です 終助詞 か (疑問) 取り立て助詞 は (提題)	情報要求 意志表示 情報要求 注目表示 (同意) 単独行為要求 (依頼) 情報提供 注目表示 (感想)	客 いかが ちょっと 小さい 大きい ~号 サイズ ちょうど いい 少々 ある こちら 待つ 様 もっと	○	○			

小分類	事例1 (上位項目)		能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能			
	事例2 (下位項目)			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く
	0801220 ★ ポイントカードや割引券を利用する	ポイントカードや割引券の利用不可について質問することができる 必要に応じてポイントカードや割引券を使って買い物ができる	店 デパート スーパー マーケット	店員	割引券の利用可否を尋ねる 利用方法を尋ねる	A 1: すみません、この割引券、使えますか。 B 1: はい、御利用になれます。店員に渡してください。 A 2: すみません、ポイントカードを持っているんですが。 B 2: はい、ではハンコを押しますので。	動詞可能形 動詞マス形+ます 接頭辞 御 (尊敬語) 格助詞 に(目標) 動詞の尊敬語 御+利用+になる 動詞可能形 れる 接続助詞 ので	情報要求 注目表示 (確認) 単独行為要求 (依頼) 注目要求 情報要求 注目表示 (確認) 単独行為要求 (依頼)	割引券 利用 店員 ポイントカード ハンコ	○	○			
	0801230 ★ クレジットカードを利用する	クレジットカードの利用不可について質問することができる 必要に応じてクレジットカードを使って買い物ができる クレジットカードの利用方法についての質問に答えることができる	店 デパート	店員	クレジットカードを利用して買い物をする	A 1: すみません、クレジットカードを使いたいんですが。 B 1: はい、こちらのカードでしたらお使いになれますが。 A 1: では、〇〇カードをお願いします。 B 1: お支払いは何回にいたしましょうか。 A 1: 1回 (2回・ボーナス一括払い) をお願いします。 B 1: こちらにサインをお願いします。 暗証番号を押していただけませんか。 こちらお客様のお控えです。ありがとうございました。	動詞マス形+形容詞 たい 接続助詞 たら、が 格助詞 で 動詞テ形+いただく 動詞可能形 接頭辞 お (美化語)	注目要求 情報要求 注目表示 (確認) 情報提供 単独行為要求 (依頼) 情報要求 単独行為要求 (依頼) 情報提供 儀礼 (感謝)	クレジットカード 支払い ～払い ボーナス一括払い サイン 暗証番号 控え	○	○	○		
	0801240 ★ 必要なものを選んで購入する	必要なものを選んで購入できる	店 デパート	店員	必要なものを選ぶ 購入する	A 1: すみません、そのカバンを見てください。 B 1: どれですか。 A 1: その赤いカバンです。 B 1: どうぞ。 A 1: じゃ、これをください。	動詞テ形+ください 指示詞 形容詞+名詞 (連体修飾) 終助詞 か (疑問)	注目要求 単独行為要求 (依頼) 情報要求 情報提供 単独行為要求 (依頼)	(商品の名前) 色	○	○			
	0801250 ★ 支払う	支払いをすることができる	店 デパート スーパー マーケット	店員	代金を支払う	A 1: すみません、いくらですか。 B 1: 1,800円です。 A 1: はい。[10,000円札を渡す。] B 1: じゃ、8,200円のおつりです。どうもありがとうございました。	終助詞 か (疑問) 名詞+です	注目要求 情報要求 情報提供 儀礼 (感謝)	いくら おつり	○	○			
	0801260 ★ 返品・交換をする	必要に応じて商品の返品・交換をすることができる	店 デパート	店員	購入したもののサイズが合わない 交換する	A 1: すみません、サイズが合わなかったので交換していただけますか。 B 1: Lサイズに交換ですね。レシートをお持ちですか。 A 1: はい。 B 1: では、こちらLサイズになります。 A 1: すみません。どうもありがとうございました。	動詞テ形+いただく (授受動詞) お+動詞マス形+です (尊敬語) 終助詞 か (疑問) 終助詞 ね (確認) 名詞+になる (「です」と同義)	注目要求 単独行為要求 (依頼) 注目表示 (確認) 情報要求 注目表示 (確認) 情報提供 儀礼 (感謝)	サイズが合う 色が気に入る Sサイズ Mサイズ Lサイズ LLサイズ レシート	○	○			
	0801270 ★ 注文する	購入したいものを注文することができる 取り寄せに関する質問に答えることができる	店 デパート	店員	取り寄せの依頼をする	A 1: すみません、これと同じ靴で、28センチのありますか。 B 1: 申し訳ありません。28センチのものは、お取り寄せになるのですが。 A 1: どれくらいかかりますか。 B 1: 1週間ほどかかると思います。よろしいでしょうか。 A 1: はい、ではお願いします。	形式名詞 の お+動詞マス形+になる (尊敬語) 副助詞 ぐらい 副助詞 ほど	注目要求 情報要求 儀礼 (陳謝) 情報提供 注目表示 (確認) 単独行為要求 (依頼)	申し訳ありません 取り寄せ どれくらい かかる	○	○			
0802	飲食店を利用する													
	0802020 ★ 店ごとに受けられるサービスと代価を理解する	店ごとに受けられるサービスと代価を理解した上で、それを利用することができる	飲食店	店員	注文する	A 1: 「セット」って何ですか。 B 1: お好きなケーキとお飲み物を合わせて500円というサービスです。 A 2: この600円の「今日のランチ」は何ですか。 B 2: 生姜焼きです。ここに書いてあるお飲物を100円で付けられます。	複合副助詞 という 接頭辞 お (尊敬語) 格助詞 で 動詞テ形+ある 連体修飾 動詞可能形 られ	情報要求 情報提供	セット サービス 飲食物の名前 ランチ	○	○			
	0802030 ★ 希望の食べ物を扱う店を探す	食べたいものを示し、店のありかを問える 相手の示した店のありかが分かる	相手の日常的な居所	知り合い	自分が食べたいものを扱っている店の在りかを尋ねる	A 1: ○○を食べたいのですが、近くのいいお店を教えてください。 B 1: ああ、それなら△△がいいですよ。	動詞マス形+形容詞 たい 動詞テ形+ください 名詞修飾 の 応答詞 ああ (相手の質問内容の理解を示し) 接続助詞 それなら 名詞+格助詞 が+いい (勧告)	意志表示 情報要求 談話表示 単独行為要求 (勧告)	食べる ですが 近く いい お店 教える ください あー それなら いいですよ	○	○			
	0802040 ★ 電話で予約する	一般の店で予約ができることを知る 一定の条件を示して予約の可否について質問することができる 予約の可否についての情報を理解することができる	(手段: 電話) 店員 (手段: 電話) 店員 (手段: 電話) 店員	グループを代表して、飲食店に予約を入れる 店側の予約不可能の回答を理解する	B 1: ○○寿司でございます。 A 1: あ、予約、お願いしたいんですけど。 B 1: かしこまりました。本日でしょか。	名詞+でございます (丁寧語) 動詞マス形+形容詞 たい 接続助詞 けど けれども (言いさし)	儀礼 (あいさつ) 単独行為要求 (依頼) 注目表示 (同意)	～寿司(業種を示す店名の稿本部分) 予約 お願いする	○	○				

小分類	事例1 (上位項目) 事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能			
			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く
					<p>A1: はい。6時半から、6人なんです。</p> <p>B1: 恐れ入ります。本日、夕方ですと御予約は満席でして、カウンター席だけになっちゃうんですが。</p> <p>A1: そうですか。じゃあ、また…。</p> <p>B1: 申し訳ありません。また、今度お待ちしております。</p> <p>A1: はい。失礼します。</p> <p>B1: 毎度、ありがとうございます。</p> <p>B2: ○○寿司でございます。</p> <p>A2: あ、予約、お願いしたいんですけど。</p> <p>B2: かしこまりました。本日ででしょうか。</p> <p>A2: はい。明日なんです。</p> <p>B2: 明日の夕方ですか。</p> <p>A2: 夕方の6時半から、6人。</p> <p>B2: かしこまりました。6時半から、6名様。お取りできます。</p> <p>A2: ああ、そう。</p> <p>B2: 当店は全席禁煙とさせていただいております、おたばこは店内の喫煙コーナーでお願いしておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>A2: ああ、はい。その方がいいですね。</p> <p>B2: では、お客様。お名前は、どちら様でお取りいたしますでしょうか。</p> <p>A2: あ、△△をお願いします。</p> <p>B2: かしこまりました。△△様で、明日××日18時30分、6名様ということで、承りました。ありがとうございます。特に、お料理は。</p> <p>A2: それは、行ったときをお願いします。</p> <p>B2: はっ。かしこまりました。</p> <p>A2: はい。じゃ、よろしく。</p> <p>B2: お待ちしております。毎度、ありがとうございます。</p>	<p>応答詞 かしこまりました (謙譲語Ⅱ)</p> <p>名詞+でしょうか (質問)</p> <p>助数詞 人</p> <p>複合接続助詞 なんです (問いかけ)</p> <p>接頭辞 御 (尊敬)</p> <p>動詞マス形+ちゃう/てしまう (完了相、遺憾のムード形式)</p> <p>動詞/形容詞辞書形+んです (説明)</p> <p>会話中断のあいさつ じゃあ、また</p> <p>動詞テ形+おります (動作の継続: 謙譲語Ⅰ)</p> <p>お+動詞マス形+する/できる (謙譲語Ⅰ)</p> <p>動詞ナイ形+せ/させていただく (許可求め謙譲語Ⅰ)</p> <p>接頭辞 お (美化語)</p> <p>格助詞 で</p> <p>お+動詞マス形+いたします (謙譲語Ⅰ)</p> <p>動詞マス形+ましょうか (指示依頼)</p> <p>承る (謙譲語Ⅰ)</p> <p>同意要求</p> <p>単独行為要求 (依頼)</p> <p>注目表示 (確認)</p>	<p>情報要求</p> <p>情報提供</p> <p>儀礼 (陳謝)</p> <p>情報提供</p> <p>談話表示</p> <p>儀礼 (陳謝)</p> <p>意志表示</p> <p>儀礼 (あいさつ)</p> <p>儀礼 (あいさつ)</p> <p>単独行為要求 (依頼)</p> <p>注目表示 (同意)</p> <p>注目表示 (否定)</p> <p>情報提供</p> <p>情報要求</p> <p>注目表示 (承認)</p> <p>情報提供</p> <p>談話提示</p> <p>同意要求</p> <p>単独行為要求 (依頼)</p> <p>注目表示 (確認)</p>	<p>本日</p> <p>はい</p> <p>～時半</p> <p>6時30分</p> <p>18時30分</p> <p>から</p> <p>～人</p> <p>～名様</p> <p>恐れ入ります</p> <p>夕方</p> <p>と</p> <p>予約</p> <p>満席</p> <p>で</p> <p>カウンター席</p> <p>だけ</p> <p>に</p> <p>なる</p> <p>そうですか</p> <p>じゃあまた</p> <p>申し訳ありません</p> <p>また</p> <p>今度</p> <p>待つ</p> <p>失礼します</p> <p>(毎度、)ありがとうございます</p> <p>いえ</p> <p>明日</p> <p>取る</p> <p>ああ</p> <p>そう</p> <p>当店は</p> <p>全席</p> <p>禁煙</p> <p>たばこ</p> <p>店内</p> <p>の</p> <p>喫煙コーナー</p> <p>お願いする</p> <p>よろしいです</p> <p>その</p> <p>方が</p> <p>いい</p> <p>ね</p> <p>客</p> <p>名前</p> <p>どちら</p> <p>承る</p> <p>とき</p> <p>で</p> <p>よろしく</p>					
0802060 ★ 店員と話す	状況に応じて店員と話す内容を理解する 店員との応答ができる	飲食店	店員	予約がしてある飲食店への来店時、店員に対応を依頼する	<p>B1: いらっしゃいませ。</p> <p>A1: あ、予約していました○○ですけど。</p> <p>B1: 毎度ありがとうございます。○○様、6時30分から、6名様で承っております。</p> <p>A1: はい。</p>	<p>動詞テ形+いる (結果の存続)</p> <p>接続助詞 けど (言いさし)</p> <p>承る (謙譲語Ⅰ)</p> <p>格助詞 から (基点)</p> <p>動詞テ形+おります (謙譲語Ⅰ)</p> <p>助数詞 ~名様 (尊敬語)</p> <p>接尾辞 ~様 (尊敬語)</p>	<p>儀礼 (あいさつ)</p> <p>情報提供</p> <p>儀礼 (感謝)</p> <p>注目表示 (確認)</p>	<p>いらっしゃいませ</p> <p>○○(名前)です</p> <p>あ</p> <p>予約する</p> <p>毎度ありがとうございます</p> <p>さま</p> <p>6時30分</p> <p>～名様</p> <p>はい</p>	○	○			
0802080 ★ 店で人数や禁煙喫煙などの希望を伝える	希望の内容と店による許諾可能性を理解する 希望の内容を適切に伝えることができる 希望の内容についての諾否説明が理解できる	飲食店	店員	飲食店への来店時、条件を示して席への案内を依頼する	<p>A1: 後から二人来て、みんなで6人です。禁煙席をお願いします。</p> <p>B1: 当店は全席禁煙とさせていただいております、おたばこは店内の喫煙コーナーでお願いしておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>A1: はい。分かりました。</p>	<p>動詞テ形</p> <p>格助詞 で</p> <p>接頭辞 当 (謙譲語Ⅱ)</p>	<p>情報提供</p> <p>単独行為要求 (依頼)</p> <p>注目表示 (確認)</p> <p>注目表示 (同意)</p>	<p>後</p> <p>から</p> <p>二人</p> <p>来る</p> <p>みんな</p> <p>で</p> <p>～人</p>	○	○			

小分類	事例1 (上位項目) 事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能			
			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く
								です 禁煙席 で 願います ます はい 当店 は 全席禁煙 と お たばこ 喫煙コーナー で 分かる た					
0802100 ★ メニューを読む	メニューの種類を理解する メニューの情報を理解する (不明な点は店員等に質問できる)	飲食店		メニューを見て知るべき 情報内容を把握する	[メニューの表記例] メニュー/お品書き ランチ(昼食)メニュー/ディナー/本日(今週/料理長)のおす め お料理/お飲物(ドリンク)/コース(それぞれのコース名:例 「おまかせコース」) 具体的な品名・番号・記号	接頭辞 お(美化語)						○	
0802120 ★ メニューを選んで注文する	メニューの種類を理解する メニューの情報を理解する (不明な点は店員等に質問できる)	飲食店	店員	店員に条件を提示し、 料理の一部変更を依頼 し、料理を注文する	B1:こちら生ビールでございます。それと、ウーロン茶ですね。 A1:そっちにお願いします。 B1:はい。お料理はお決まりになりましたでしょうか。 A1:ええと、このお任せコース4,000円で、一人、肉を食べない のがいるんですけど…。 B1:鶏肉もだめでしょうか。 A1:はい。鶏肉もだめなんだよね。 B1:そうですか。一品だけ鶏つくねのお料理がございますので、 何か別のものに変えさせていただきます。 A1:悪いね。 B1:いえ、工夫させていただきます。	名詞+でございます(丁寧語) 終助詞 ね(確認) 接頭辞 お(美化語) お+動詞マス形+になる(尊敬語) 動詞辞書形+んです(説明) 接頭辞 けど/けれども(言いさし) 動詞ナイ形+せ/させていただきます(許可 求め謙譲語1)	情報提供 情報要求 単独行為要求(依 頼) 注目表示(同意) 注目表示(確認) 同意要求 儀礼(陳謝) 意志表示	こちら 生ビール で ございます それ と ウーロン茶 です ね そっ ち に 願 い す る ま す は い お 料 理 は た か え え と こ の 任 せ る コ ー ス ~ 円 で 一 人 肉 を 食 べ る な い の が い る 鶏 肉 も だ め だ よ ね そ う で す か 一 品 だ け 鶏 つ く ね の で 何 か 別 の も の に 変 え る 悪 い ね い え 工 夫	○	○			
0802140 ★ 食券を買う	食券により購入するシステムを理解 する 必要なものを選んで券売機を利用 できる	飲食店	(券売機)	券売機やその周辺に示 されている情報を理解 し、自動券売機で食 べる物を選んで食券を購 入する	[券売機の表示](例:そばチェーン店 ※音声での案内等がある場 合もある。) [メニューの 카테고리ごとの分類] (※このカテゴリーのそれぞ れに具体的な品名が表示されている。) セット/そば・うどん/丼・ミニ丼/トッピング/麺大盛り [メニュー以外の表示] 五千円札・一万円札は使用できません	(漢語)+できる(可能形) 助数詞 円		セット そば うどん 丼 ミニ トッピング めん大盛り		(○)	○		

小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能			
				場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く
									～円札 券取出口 おつり 売り切れ 品切れ					
		0802170 ★ 追加の注文をする	依頼表現を伝えることができる 依頼に応えることができる	レストラン	ウェイター	もう少し食べたい	A1: すみません。生ビール、もう一杯お願いします。 B1: はい。すぐお持ちします。	すみません (間投詞) (呼びかけ) もう+助数詞 お+動詞マス形+する (謙譲語1)	注目要求 単独行為要求 (依頼) 注目表示 (承認)	もう+ (助) 数詞 ～杯	○	○	○	
		0802190 ★ 支払いをする	支払いの意思を伝えることができる 支払いの方法を選ぶことができる	レストラン	ウェイター	食事後に支払いの方法を知りたい	A1: すみません。(お) 会計をお願いします。 B1: お会計はお帰りにレジでお願いいたします。 A2: すみません。(お) 会計をお願いします。 B2: こちらにお持ちしますので、お待ちください。 A2: では、これでおつりをください。 A3: ごちそうさま。おいくらですか。 / いくらになりますか。 B3: ありがとうございます。御一緒でよろしいですか。 A3: 別々でお願いします。 / 一緒をお願いします。 A4: ごちそうさま。お勘定をお願いします。 B4: ありがとうございます。御一緒でよろしいですか。 A4: 別々でお願いします。 / 一緒をお願いします。	間投詞 すみません (呼びかけ) 接頭辞 お (美化語) お+動詞マス形+いたします (謙譲語1) お+動詞マス形+します (謙譲語1) お+動詞マス形+ください (尊敬語) (依頼) 疑問詞 いくら (価格) 接頭辞 お (美化語) 接頭辞 御 (尊敬語) 形容詞 よろしい (美化語) 名詞+格助詞 で+形容詞 いい	注目要求 単独行為要求 (依頼) 注目要求 単独行為要求 (依頼) 談話表示 儀礼 (あいさつ) 情報要求 儀礼 (感謝) 注目表示 (確認) 単独行為要求 (依頼)	会計 帰り レジ おつり	○	○		
0803	各種サービスを利用する													
		0803010 ☆ 店ごとに受けられるサービスと代価を理解する												
		0803040 ★ 店舗を探す	知らない人を呼び止めることができる 情報収集のための表現ができる 提供された情報を理解できる	街角	通行人	店の場所が分からない	A1: この辺に、セルフサービスのランドリーがありますか。 B1: ああ、コイン・ランドリーですね。そのコンビニの裏にありますよ。 A1: ありがとうございます。 A2: この辺に、セルフサービスのランドリーがありますか。 B2: さあ、分かりません。そのコンビニで聞いてくれませんか。 A2: ありがとうございます。	格助詞 に (位置) 格助詞 が (叙述) 動詞 ある (存在) 終助詞 か (疑問) 終助詞 よ (主張) 動詞テ形+くれませんか (依頼) 間投詞 さあ(不確定) 間投詞 ああ(確認)	情報要求 注目表示 (確認) 情報提供 注目表示 (否定) 単独行為要求 (依頼) 儀礼 (感謝)	セルフサービス (コイン) ランドリー コンビニ 裏 さあ 分かる 分からない	○	○		
		0803080 ★ 利用方法を知る	情報提示を求められることができる 追加情報を求めることができる 提供された情報を理解できる	店頭	店員	サービスの利用方法が分からない	A1: ここで履歴書用の写真が撮れますか。 B1: はい、セルフサービスでどうぞ。 A1: カードで払えますか。 B1: いいえ、現金だけです。	指示詞 ここ (場所) 格助詞 で (場所) 接尾辞 用 動詞語幹+える/られる (可能形) 格助詞 で (手段) 副助詞 だけ (限定)	情報要求 単独行為要求 (勧告) 注目表示 (否定)	ここ 履歴書 ～用 写真 撮る はい セルフサービス カード 払う いいえ 現金 だけ	○	○	○	
		0803100 ★ コンビニエンスストアのサービス (ATM、ファックス、公共料金の支払い等) を利用する	情報提示を求められることができる 追加情報を求めることができる 提供された情報を理解できる 機器の表示 (文字・記号) が理解できる 表示された指示に従って操作・対応できる 納付書等の記載事項が理解できる 納付書等に的確に記入することができる	店頭	店員	ATMがどこにあるか分からない ATMの使い方が分からない 公共料金の払い込みがしたい 払い込み用紙の記入方法が分からない	A1: ATMはどこですか。 B1: あちらです。 A1: 使い方を教えてください。 A2: 電気料金を払いたいです、お願いします。 A3: 電話料金はここで払い込めますか。 A4: 電話料金はここでいいですか。 A5: (記入事項について) ここには何を書くのですか。	取り立て助詞 は (提題) 指示詞 どこ (場所) (疑問) 終助詞 か (疑問) 指示詞 あちら (方向) 動詞マス形+接尾辞 方 (方法) 動詞マス形+形容詞たい (願望) 接続助詞 ので (理由) 動詞語幹+える/られる (可能形) 格助詞 で (場所) 疑問詞 何 (種別) 動詞辞書形+のです (説明)	情報要求 情報提供 単独行為要求 (依頼)	ATM 銀行の機械 ファックス コピー 払う 払い込む 振り込む 電話料金 水道料金 電気料金	○	○	○	○
		0803110 ★ クリーニング店、レンタルビデオ店、美容院、理容店を利用する	来店した自分の目的や希望を申し出ることができる 情報提示を求められることができる 追加情報を求めることができる 提供された情報を理解できる 申込書に必要事項を記入することができる	店頭	店員	クリーニングを注文したい	[クリーニング店] A1: これをお願いします。 B1: 会員証 (カード) はありますか。 A1: ありません。作ってください。 B1: お急ぎですか。 A1: はい、急ぎでお願いします。 / いいえ、普通でいいです。	格助詞 を (対象) 取り立て助詞 は (提題) 動詞 ある (所有) 終助詞 か (疑問) 動詞マス形+否定形ません	単独行為要求 (依頼) 注目表示 (確認) 注目表示 (否定) 情報要求 注目表示 (承認)	ドライ 水洗い (お) 急ぎ 普通 会員証	○	○	○	△

小分類	事例1 (上位項目)		能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能			
	事例2 (下位項目)			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く
			代金の支払い等、金銭の授受ができる 店員と適切なあいさつを交わすことができる			レンタルビデオを借り出したい 美容・理髪を依頼したい	お勤定はいくらですか。／おいくらですか。 [レンタルビデオ店] B2: いつまでですか。 A2: 3泊でお願いします。／次の月曜日までお願いします。 A2: お勤定はいくらですか。／おいくらですか。 [美容院・理容店] A3: カットとシャンプーをお願いします。／パーマもかけてください。 B3: どんなふうにしますか。 A3: この写真のようにしてください。／今と同じでいいです。／短く(長く)してください。 B3: ヘアーリキッドは付けますか。／～はどうしましょう。 A3: お勤定はいくらですか。／おいくらですか。	動詞テ形+ください(依頼) 接頭辞+動詞マス形+です(尊敬語) 指示詞 いくら(値段) 接頭辞 お(美化語) 疑問詞 いつ(時) 助数詞 泊 格助詞 と(並列) 取り立て助詞 は(対照) 取り立て助詞 も(付加) 疑問詞 どんな(種類) 疑問詞 どう(方法) 名詞+の+ように(比喩) 形容詞ク形+する 名詞+格助詞 で+形容詞 いい	情報要求 単独行為要求(依頼) 単独行為要求(依頼) 情報要求	カード お勤定 いくら いつ ～泊 月曜日 お願いする カット シャンプー パーマ かける 今 と 同じ 短い 長い ヘアーリキッド				
0804	商品情報(素材、注意書き等)について理解する			店頭	店員	商品の材料やサイズを確かめたい	[書かれた情報を読み取ることが中心] A1: 卵(小麦・ソバ)は入って/使っていますか。 A2: 綿100%ですか。 A3: Sサイズはありませんか。	[文表現とともに、記号・数字の理解も不可欠]	消費期限 賞味期限 原材料 アレルギー S M L 木綿 アクリル サイズ	△	△	◎		
	0804020 ★ 商品に添えられた情報を的確に理解する	求める情報のありかを探し、たどり着くことができる 書いて提供された商品情報を読み取ることができる 追加情報を求めることができる												
	0804040 ★ 新聞広告・折り込み広告を理解する	求める情報のありかを探し、たどり着くことができる 書いて提供された商品情報を読み取ることができる	自宅 街頭 交通機関内			欲しい商品を探したい より良い条件の買物を考えたい	[書かれた情報を読み取ることが中心]	[文表現とともに、記号・数字の理解も不可欠]	大安売り バーゲン 大特価 新発売 限定発売	△	△	◎		
0805	購入額を確認・計算する			店頭	店員	レシート・領収書が欲しい	A1: すみません、レシートをください。／領収書をください。 A2: 合計金額はどこですか。／おつりはどこですか。 A3: あのー、計算が違っていませんか。／これでいいですか。 A4: すみません、ちょっと確かめてください。	取り立て助詞 は(提題) 格助詞 を(対象) 疑問詞 どこ(場所) 間投詞 あのー 動詞マス形+ませんか(確認) 名詞+格助詞 で+形容詞 いい	注目要求 単独行為要求(依頼) 情報要求 注目要求 情報要求	レシート 領収書(証) 合計金額 おつり お返し 違う 正しい 確かめる	○	○	◎	
	0805040 ★ レシートを確認する	求める情報のありかを探し、たどり着くことができる 書いて提供された情報を読み取ることができる 追加情報を求めることができる				レシートの記入内容が分からない レシートの記入内容に疑問がある								
	0805050 ★ レシートを理解する	求める情報のありかを探し、たどり着くことができる 書いて示された情報を読み取ることができる 追加情報を求めることができる	店頭	店員	レシートの記入内容が分からない	[書かれた情報を読み取ることが中心] A1: あのー、ここには何が書いてあるのですか。 B1: 消費税です。	疑問詞 何(種別) 動詞テ形+ある(状態) 終助詞 か(疑問)	注目要求 情報提供	レシート 領収書(証) 合計金額 おつり	△	△	◎		
	0805080 ★ 代金を支払う	提示された代金や支払い方法の情報が理解できる 必要な問い返しができる 支払い方法などの希望を伝えることができる 示された支払い方法が理解できる 買い物の会話を締めくくることができる	店頭	店員	買い物の支払いをする 支払いの仕方を選びたい 割引クーポンが使えるかどうか確かめたい	B1: ありがとうございます。〇〇円になります。 B2: △△円、お預かりします。××円のお返しになります。／××円のおつり/お返し。 B2: 現金でしょうか。／カードをお使いになりますか。 A2: カードでお願いします。／現金でお願いします。 A3: 割引きのクーポンは使えますか。／クーポンがありますけど。 B3: 申し訳ありません。あいにく取り扱っておりません。／お使いいただけません。	格助詞 に+なる(結果) 接頭辞 お+動詞マス形+します(謙譲語1) 接頭辞 お+動詞マス形+になる(尊敬語) 名詞+で(手段) 格助詞 で(手段) 動詞語幹+える/られる(可能形)	儀礼(感謝) 注目表示(確認) 情報要求 単独行為要求(依頼) 注目表示(否定)	預かる ～円 おつり 釣り銭 お返し 現金 カード クーポン 割引 あいにく 取り扱う 扱う	○	○	○		

小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能			
				場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く
0806	カード等を利用する	0806030 ★ カードの利用の可否を確認する	カード利用の可否について質問することができる カード利用の可否についての情報を理解することができる	デパート 飲食店	店員	カードで支払いたいので使えるかどうか確かめたい	A1: すみません。クレジットカードは使えますか。 B1: はい、御利用いただけます。 A1: 分かりました。ありがとうございます。 A2: すみません。クレジットカードは使えますか。 B2: 申し訳ございません。当店では現金のみとなっております。 A2: 分かりました。ありがとうございます。	動詞語幹+える/られる (可能形) 接頭辞 御 (美化語) 取り立て助詞 は (提題) 取り立て助詞 のみ (選別) 動詞テ形+おります (謙譲語Ⅱ) 終助詞 か (疑問)	注目要求 情報要求 注目表示 (承認) 儀礼 (感謝) 情報要求 注目表示 (否定) 儀礼 (陳謝) 儀礼 (感謝)	すみません クレジットカード カード 使う 御利用 いただく 申し訳ございません 現金 当店 ありがとうございます	○	○		
09 金融機関を利用する●														
0901	口座を開設する	0901050 ★ 申し込みをする	口座開設の意志を伝えることができる 係員の説明を聞いて理解することができる 必要事項を記入することができる	金融機関	金融機関の職員	口座を開設したい	A1: 口座を作りたいんですが。 B1: こちらの用紙に御記入ください。本日は、御印鑑と御本人様を確認できるものを何かお持ちですか。 A1: はい、持っています。	動詞テ形+たいんですが (依頼) 格助詞 を (対象) お/御+動詞語幹+ください 取り立て助詞 は (提題) 接頭辞 御 (尊敬語) 接頭辞お+動詞マス形+です (尊敬語)	情報要求 単独行為要求 (依頼) 情報要求 注目表示 (同意) 情報提供	口座 作る こちら 用紙 記入する 本日 印鑑 本人様 確認する もの 何か	○	○		
0903	ATMを利用する	0903040 ★ 預金の引出しをする	ATMの指示内容を理解できる	金融機関 コンビニ	ATM	ATMを利用して預金を引き出したい	B1: いらっしゃいませ。(機械音) [画面上: 「引き出し」の部分タッチする。] B1: 通帳、またはカードをお入れください。(機械音) [画面上: 暗証番号を入力する。] [画面上: 金額を入力する。] B1: 金額がよろしければ「確認」を、違うときは「訂正」を押してください。(機械音) B1: しばらく、そのままお待ちください。 [カードとお金が出てくる。] B1: 取り忘れに御注意ください。ありがとうございました。	接続助詞 ば (条件) 接続詞 とき 格助詞 を (対象) 動詞テ形+ください 格助詞 で 接頭辞お/御+動詞マス形+ください	注目要求 単独行為要求 (命令) 単独行為要求 (命令) 単独行為要求 (勧告) 単独行為要求 (勧告) 儀礼 (あいさつ)	いらっしゃいませ 通帳 カード 入れる 金額 よろしい 確認 違う 訂正 押す しばらく そのまま 待つ 取り忘れ 注意 ありがとうございました		○	○	
10 電車、バス、飛行機、船等を利用する●														
1001	時刻表を確認する	1001020 ★ 発車する時刻やかかる時間を尋ねる	目的地を伝えることができる 目的地へ行く交通機関の時間や所要時間を聞くことができる 時間や発車場所を理解することができる 駅名、行き先などの駅の表示が理解できる	駅 バス停 港	駅員など	目的地までの交通機関の時間と所要期間が分からないので質問したい	A1: すみません、〇〇へ行きたいんですが、何時ですか。 B1: 〇〇ですか。10時35分発、3番線です。 A1: 〇〇までどれぐらいかかりますか。 B1: 40分ぐらいです。	終助詞 か (疑問) 格助詞 へ (目的) 副助詞 まで (範囲の限定) 副助詞 くらい (概算) 接続助詞 が (前置き) 終助詞 か (疑問) 取り立て助詞 は (説明) 指示詞 何 疑問詞 どれぐらい (程度)	注目要求 意思表示 情報要求 注目表示 (確認) 情報提供 情報要求 情報提供	すみません 行く ～時 ～分 ～発 ～番線 まで どれぐらい ～くらい (ぐらい)	○	○	○	

小分類	事例1 (上位項目) 事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能									
			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く						
1002	路線図を確認する																		
	1002060 ★ 目的地への行き方を尋ねる	目的地への行き方を聞くことができる 目的地への行き方の説明を理解することができる 駅名、行き先などの駅の表示が理解できる	駅 バス停 港	駅員など	目的地への行き方が分からないので、質問したい	A2: すみません、次の〇〇行きは、何時ですか。 B2: 10時ちょうどです。 A2: 何番線ですか。 B2: 3番線です。	終助詞 か (疑問) 終助詞 か (確認) 格助詞 に (到着点) 格助詞 で (手段) 疑問詞 どうやって (方法) 動詞テ形 (順序) 動詞タ形+ら いい 動詞テ形+ください 取り立て助詞 は (提題)	情報要求 情報提供 情報要求 情報提供	次 ～行き ～時 ちょうど ～番線										
1004	運賃を支払う・切符を購入する																		
	1004060 ★ 券売機を利用する	券売機の使い方が分かる 券売機の文字が読める 券売機の使い方を聞くことができる	駅	駅員 通行人	目的地への乗車券が買いたい 目的地への乗車券が買いたい 券売機の使い方が分からないので質問したい	[券売機表記例] 発売中、発売中止、乗車券、大人、小人、乗り換え、～線、呼び出し、取り消し、おつり、硬貨、札 A1: すみません、〇〇へ行きたいんですが、どうやって切符を買いますか。 B1: 〇〇まで、200円です。まず、お金を入れて、それから、200円のボタンを押してください。ここから切符が出ます。	終助詞 か (疑問) 格助詞 へ (目的) 格助詞 を (対象) 格助詞 から (起点) 格助詞 が (主語) 接続助詞 が (前置き) 副助詞 まで (範囲) 動詞テ形 (順序) 動詞テ形+ください 指示詞 ここ (場所) (眼前) 名詞修飾 の 疑問詞 どうやって (方法) 普通形+んです (説明) 副詞 まず 接続詞 それから 動詞マス形+たい	注目要求 意思表示 情報要求 情報提供	発売中 発売中止 乗車券 大人 小人 乗り換え ～線 呼び出し 取り消し おつり 効果 ～札 すみません 行く どうやって 切符 買う まで ～円 お金 ボタン 押す ここ から 出る										
11	タクシーを利用する●																		
	1101 タクシーを呼ぶ																		
	1101060 ★ タクシー乗り場を探す	「タクシー」の表示を理解することができる タクシー乗り場の場所を聞くことができる 場所の説明を理解することができる	駅 バスターミナル 港 空港	通行人	タクシー乗り場を探している タクシー乗り場がどこにあるのか質問したい	[案内表記例]タクシー、タクシー乗り場 A1: すみません、タクシー乗り場はどこですか。 B1: タクシー乗り場は、東口を出てすぐ右です。	終助詞 か (疑問) 指示詞 どこ (場所) (疑問) 取り立て助詞 は (提題) 格助詞 を (起点)	情報要求 情報提供	タクシー タクシー乗り場 どこ 東口 出る すぐ 右										

小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能					
				場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く		
	1101070 ★ 道路でタクシーを止める		「空車」の表示を理解することができる 手を挙げてタクシーを止めることができる	路上	タクシー乗務員	手を挙げたら止まるタクシーを識別したい タクシーを止めたい	[タクシー表示 表記例] 空車, 実車, 予約, 回送, 迎車 A1: (手を挙げてタクシーを止める)		意思表示	空車 実車 予約 回送 迎車			○			
1102	行き先を指示する	1102040 ★ 行き先を告げる	タクシーの運転手に行き先を伝えることができる	タクシー車中	タクシー乗務員	行き先を伝え、目的地に行く	A1: ○○駅までお願いします。 A2: ○○市△△町の2丁目の52番までお願いします。	副助詞 まで (範囲)	意思表示 単独行為要求	～駅 まで お願いする ～市 ～町 ～丁目 ～番		○				
1103	運賃を支払う	1103060 ★ 運賃を聞き取り支払う	タクシーメーターの運賃を見て理解することができる 運賃を聞き取ることができる	タクシー車中	タクシー乗務員	タクシーで目的地に到着し、運賃を支払う	B1: 1280円です。 A1: はい。(運賃を支払う) [メーター 表記例] 初乗, 運賃, 深夜, 迎車, 割増	応答詞 はい	情報提供	～円 はい 初乗 運賃 迎車 深夜 割増			○	○		
12	徒歩で移動する●															
1201	住所・番地を確認する	1201030 ★ 住所表示, 交差点名, 街の案内地図などを読む	地名などの漢字の読み方を質問できる 地名などの漢字を読むことができる 案内地図によく使われる記号の意味が分かる	路上 職場 家庭 学校	見知らぬ人 家族 知人 友人 同僚	町名などの読み方を知りたい 目的地への道順を聞きたい 目的地への道順を調べたい	A1: この「こ, まめ, さわ (小豆沢) 体育館」ですか、ここに行くのはこの道をまっすぐですか。 B1: ああ, 「あずさわ体育館」ですね。次の角を左に曲がると、すぐ見えてきます。	指示詞 この 終助詞 か (疑問) 指示詞 ここ 格助詞 に 取り立て助詞 は (提題) 格助詞 を 形式名詞 の 終助詞 ね 格助詞 の 接続助詞 と 動詞テ形+くる 感動詞 ああ (気付き)	情報要求 注目表示 情報提供	体育館 行く 道 まっすぐ 次 角 左 曲がる すぐ		○	○	○		
1202	地図を理解する	1202030 ★ 地図上で目的地を確認する	地名などの漢字を読むことができる 地図によく使用されている記号の意味が分かる	路上 家庭 職場	家族 友人 知人 初対面の人	地図で目的地を確認したい	A1: (地図を見ながら) あの方, 市役所はここですか。 B1: いいえ, 違います。市役所はこっちですよ。 A1: あ, そうなんですか。どうもありがとうございます。	間投詞 あの方 (呼び掛け) 取り立て助詞 は (提題) 終助詞 か (疑問) 間投詞 いや 指示詞 こっち 終助詞 よ (主張)	注目要求 情報要求 注目表示 (否定) 情報提供 注目表示 (確認) 儀礼 (感謝)	あの方 市役所 ここ いいえ 違います こっち そうなんですか ありがとうございます		○	○	○		
		1202060 ★ 地図を書いてもらう	自分の行きたい場所を説明できる 地図を書いてくれた人の説明が理解できる	路上 家庭 職場	家族 友人 知人 初対面の人	目的地までの道順が知りたい	A1: あの方, ちょっとすみません, 井上病院はこの道でいいんですか。 B1: いいえ, 違いますよ。えーと, もう1本向こう側です。あそこに見える銀行の角を右へ曲がって, それから3つ目の信号を…。 A1: すみませんが, 地図, 書いてもらえませんか。	間投詞 あの方 (呼び掛け) 終助詞 か (疑問) 間投詞 いいえ 終助詞 よ (主張) 副詞 もう	注目要求 情報要求 注目表示 (否定) 情報提供 単独行為要求 (依頼)	あの方 ちょっと, すみません 病院 この道 違います 向こう側		○	○	○		

小分類	事例1 (上位項目) 事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能												
			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く									
1203	交通標識を理解する																					
	1203030 ★ 目的地の方向や距離を確認する	地名などの漢字を読むことができる 交通標識の意味を理解することができる	車内 路上	家族 友人 知人 初対面の人	目的地の方向が知りたい 目的地までの距離が知りたい	A1: 第二小学校へ行くには、ここを曲がればいいですね。 B1: はい、そうです。10分ぐらいで着きますよ。 A1: そうですか、ありがとうございます。	取立て助詞 は (提題) 指示詞 ここ 終助詞 ね (確認) 間投詞 はい 副詞 ぐらい 終助詞 よ (主張)	同意要求 注目表示 (承認) 情報提供 意思表示 儀礼 (感謝)	小学校 行く ここ 曲がる ～分 ぐらい 着く ありがとうございます		○	○										
1204	道を聞く																					
	1204040 ★ 目的地までの道を探る	人を呼び止めることができる 目的地を説明することができる 説明内容を聞いて理解することができる	路上	初対面の人	目的地までの道順を知りたい	A1: すみません。駅へ行きたいんですが…。 B1: 駅ですね。えーと、この道をまっすぐ行った突き当りに郵便局があります。その交差点を左に曲がって、200メートルくらい行ったところが駅ですよ。 A1: ありがとうございます。	間投詞 すみません (呼びかけ) 動詞マス形+たいんですが 終助詞 ね (確認) 連体修飾 格助詞 に (場所) 格助詞 が (叙述) 指示詞 その 格助詞 を (対象) 接続助詞 て 副詞 くらい 終助詞 よ (主張)	情報要求 注目表示 (同意) 情報提供 儀礼 (感謝)	すみません 駅 行く この道 まっすぐ 突き当たり 郵便局 交差点 左 メートル ところ ありがとうございます		○	○										
31	人と付き合う★																					
3101	あいさつをする																					
	3101010 ☆ あいさつの種類と目的を理解する																					
	3101020 ☆ TPOに合った適切なあいさつ形式を理解する																					
	3101030 ★ 時宜にあったあいさつを学んで実行する (年賀状や暑中見舞いのやりとりをする)	会社の上司や先生などに定型句で年賀状を書くことができる 送られてきた賀状に簡単な表現で礼状を書くことができる	自宅 自宅	上司 先生 部下 同僚 学生・生徒	年末に会社の上司やお世話になった先生に年賀状を書く 年賀状を出さなかった人から賀状が送られてきたので、返事を書く	1 新年明けましておめでとうございます 昨年中はいろいろお世話になり、ありがとうございました。 今年もどうぞ よろしく願っています。 2009年元旦 グエン・パン・タン 2 新年明けましておめでとうございます お年賀状、ありがとうございました 今年もよろしく願っています 2009年1月5日 田中 英子	時の名詞+中 (期間) 取り立て助詞 は (提題) 動詞マス形で終わる節 (理由) 取り立て助詞 も (付加) 接頭辞 お (美化語) 動詞いたす (「する」の謙譲形=謙譲語II) 接頭辞 お (美化語) 取り立て助詞 も (付加) 動詞いたす (「する」の謙譲形=謙譲語II) 接頭辞お+動詞マス形+いたす (謙譲語II)	儀礼 (あいさつ) 儀礼 (感謝) 単独行為要求 (依頼) 儀礼 (あいさつ) 儀礼 (感謝) 単独行為要求 (依頼)	新年 あけましておめでとうございます 昨年 ～中 いろいろ 世話 お世話になる ありがとうございました 今年 どうぞ よろしく 願います いたす ～年 年賀状 ～年 ～月 ～日									○			○	○

小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能						
				場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く			
(年末年始のやりとりをする)			定型句を使って、暑中見舞いを書くことができる	自宅	先輩 先生	学校の先輩やお世話になっている人に暑中見舞いの書状を書く	3 暑中お見舞い申し上げます 暑さ厳しき折 お体ご自愛ください	動詞申し上げる (「言う」の謙譲形=謙譲語Ⅱ) 形容詞語幹+さ (名詞) 形容詞語尾 き (古語 名詞修飾) 接頭辞 御+漢語動詞語幹+ください (尊敬語)	儀礼 (あいさつ) 単独行為要求 (依頼)	暑中 見舞い 申し上げる 暑さ 厳しい 折 体 自愛する							
			年末の簡単なあいさつを言うことができる	近所	近隣の知り合い	年末に隣の人に道で会う	B1: 明日から北海道へ旅行に行きます。マリアさん、どうぞよいお年を。 A1: どうぞよいお年を。	動詞マス形+格助詞 に (目的)+動詞行く どうぞ+名詞+格助詞 を (願望) 接頭辞 お (美化語)	意志表示 儀礼 (あいさつ)	明日 から 北海道 旅行 行く どうぞ よい よい ~年 どうぞよいお年を 明けておめでとう ございます 今年	○	○					
			新年の簡単なあいさつをすることができる	会社 近所	近隣の知り合い 会社の人	新年に会社や近所であいさつをする	B2: 明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祈ります。 A2: 明けましておめでとうございます。こちらこそ、どうぞよろしくお祈ります。	取り立て助詞 も (付加) 取り立て助詞こそ (卓立)	儀礼 (あいさつ) 単独行為要求 (依頼)	どうぞよいお年を 明けておめでとう ございます 今年 こちら どうぞよろしくお祈 りますお祈ります	○	○					
			簡単な表現で結婚のお祝いの言葉 言うことができる	会社 結婚式場	同僚 先輩	結婚する同僚へお祝いの品物を手渡す	【職場で結婚する人へお祝いを言う】 A3: 御結婚おめでとうございます。これ結婚のお祝いです。 B3: どうもありがとうございます。	接頭辞 御 (尊敬語) 接頭辞 お (美化語)	儀礼 (祝福) 儀礼 (感謝)	結婚 おめでとうございます お祝い	○	○					
							お祝いの気持ちを表すことができる	結婚式場	同僚 先輩	【結婚式場で帰りのあいさつをする】 A4: 本日はおめでとうございます。とてもいい結婚式でした。 B4: 今日は来ていただいて本当にありがとう。 A4: どうぞお幸せに。	取り立て助詞 は (提題) 動詞テ形で終わる節 (理由) 動詞テ形+動詞いただく (「もらう」の尊敬形) (謙譲語Ⅰ)	関係作り (ほめ) 儀礼 (感謝) 関係作り (願望)	本日 とても いい ~式 今日 来る いただく 本当に ありがとう 幸せ どうぞお幸せに	○	○		
			(葬式に参列する)			定型表現で葬式のあいさつを言うことができる	葬式	友人の家族 葬式の受付	友人の葬式に行き、友人の家族の人に挨拶した後、受付で香典を出す	A5: このたびはどうぞ (ごしゅうしょうさまです)。 B5: おそれいります。こちらにお名前と御住所をお書きください。 【東京都港区虎ノ門 3-25-2】	取り立て助詞 は (提題) 接頭辞 お (美化語) 接頭辞 御 (美化語) 接頭辞 御+漢語動詞語幹+ください (尊敬語)	儀礼 (あいさつ) 単独行為要求 (依頼)	この たび どうぞ ごしゅうしょうさまで す おそれいります こちら 名前 住所	○	○		
						入院した人の居場所を尋ねることができる	病院	看護師	林さんの居場所を確認する	A7: すみません、林さんはここですね。 B7: ええ、そうですよ。一番奥の窓側のベッドが林さんです。 A7: おばあさん、いかがですか。	終助詞 ね (確認) 終助詞 よ (主張) 格助詞 の (名詞修飾) 接頭辞 お+名詞+接尾辞 様	注目要求 単独行為要求 (依頼) 注目要求 注目表示 (同意) 情報提供	すみません ~号室 (号, 室) 林 ~さん 見舞い それでは ここ 名前 書く	○	○		
			(見舞いに行く)			入院した人の居場所を尋ねることができる	病院	看護師	林さんの居場所を確認する	A7: すみません、林さんはここですね。 B7: ええ、そうですよ。一番奥の窓側のベッドが林さんです。 A7: おばあさん、いかがですか。	終助詞 ね (確認) 終助詞 よ (主張) 格助詞 の (名詞修飾) 接頭辞 お+名詞+接尾辞 様	注目要求 単独行為要求 (依頼) 注目要求 注目表示 (同意) 情報提供	すみません ~号室 (号, 室) 林 ~さん 見舞い それでは ここ 名前 書く	○	○		
						簡単な表現で見舞いの気持ちを言うことができる	病室	入院患者	入院している林さん (おばあさん) と話す 林さんにお見舞いのお花をわたす	C7: まあ、トーさん、悪いね。こんな所まで来てもらって。 きれいなお花。	終助詞 か (質問) 疑問詞 いかが (疑問詞「どう」の尊敬形)	儀礼 (あいさつ) 情報要求	奥 窓				

小分類	事例1 (上位項目) 事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能				
			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く	
	(引越しのあいさつ)	退出することを伝えることができる			病気の人を訪ね、いとまごいをするときに、挨拶をする	A7: そろそろ失礼します。おばあさん、どうぞお大事に。	動詞テ形+もらう 縮約形+ムード形式 ちゃう (=てしまう) 指示詞 こんな 格助詞 まで (到達点)	注目表示 (確認) 関係作り (感謝) 注目表示 (感想) 儀礼 (あいさつ) 関係作り (願望)	～側 ベッド 客 お客様 おばあさん いかが まあ 悪い 悪いね こんな 所 来る きれいな 花 そろそろ 失礼する お大事に					
		引越しのあいさつをすることができる	近所	隣の人	引越しするので、近所の人に別れの挨拶をする	【引越しのあいさつをする】 A8: 明日、川崎へ引越します。いろいろお世話になりました。 B8: まあ、そうですか。どうぞ、お元気で。 A8: はい、ありがとうございます。	格助詞 へ (方向) 間投詞 まあ	儀礼 (感謝) 注目表示 (確認) 関係作り (願望)	引越す 明日 いろいろ 世話 お世話になりました また そう どうぞ お元気で (元気) ありがとうございます	○	○			
		引越し先で簡単なあいさつをすることができる	近所	隣の人	引越してきたので、隣の人に挨拶をする	A9: ごめんください。隣に引越してきた木村です。どうぞよろしくお願いします。 B9: 鈴木です。こちらこそ、どうぞよろしく。 A9: これどうぞ。 B9: まあ、どうもすみません。	動詞テ形+動詞 来る (接近) 節+名詞 (名詞修飾) 取り立て助詞こそ (卓立)	注目要求 情報提供 儀礼 (あいさつ) 単独行為要求 (受領) 儀礼 (感謝)	ごめんください 隣 引越す どうぞよろしくお願 い し ま す こ ち ら こ そ ど う ぞ ど う も す み ま せ ん	○	○			
	3101040 ☆ あいさつの文化的相違を理解する													
	3101060 ★ 相手に合わせたあいさつをする	相手に応じたあいさつをすることができる	道 家 会社 公共の場	知り合い 友人 上司 同僚 部下 初対面の人	道で人と会う 会社で人と会う 公民館などの公共の場 で人と会う 訪問する	A1: おはようございます。毎日暑いですねえ。 B1: そうだね、本当に暑いねえ。 A1: この間は、ごちそう様でした。 B1: いえ、こちらこそ、お土産をありがとうございました。	終助詞 ねえ (同意要求) 接頭辞 お (美化語) 格助詞 を (対象)	儀礼 (あいさつ) 注目表示 (確認) 儀礼 (感謝)	おはようございます この間 毎日 暑い 本当に お土産 ごちそう様でした こちらこそ	○	○			
	3101080 ★ 日常のあいさつをする	あいさつの種類を選択することができる あいさつの相手による表現の違いを選択することができる 自分からあいさつすべき状況を判断できる あいさつに伴う非言語行動ができる 相手のあいさつに応じることができる	職場 職場 職場	上司 同僚 上司	出勤した時になんと 言えばいいのかわからない あいさつの応答が わからない 帰宅前になんと 言えれば いいのかわからない	A1: 課長さん、おはようございます。 B1: やあ、〇〇さん、おはよう。 B2: 〇〇さん、おはようございます。 A2: おはようございます。 B2: 今日はいい天気ですね。 A2: そうですね。 A3: 今日はこれで失礼します。 B3: お疲れ様でした。	職位+さん (上司) 姓+さん (同僚、部下) 間投詞 やあ (会釈) 取り立て助詞 は (提題) 終助詞 ね (確認) 取り立て助詞 は (提題)	注目要求 儀礼 (あいさつ) 注目表示 (承認) 注目要求 儀礼 (あいさつ) 同意要求 注目表示 (同意) 儀礼 (あいさつ)	課長 さん おはよう ございます おはよう やあ 今日 いい 天気 です これで 失礼する お疲れ様	○	○			
	3101130 ★ 人間関係のきっかけを作るあいさつをする	今後付き合いをする相手を選べる 初対面のあいさつができる	不特定の場所	初対面の相手	今後付き合いたい相手と出会う	A1: はじめまして。(名前)と言います。(国名)から来ました。 B1: ああ、(国名)ですか。(名前)さん? A1: はい。(名前)です。よろしくお願ひします。 B1: こちらこそ、よろしくお願ひします。わたしは、(名前)です。	格助詞 から (出発点) 動詞タ形 (完了) 終助詞 か (疑問) 質問の音調 ~? 取り立て助詞こそ (卓立) 取り立て助詞 は (提題)	儀礼 (あいさつ) 情報提供 注目表示 (確認) 情報要求 単独行為要求 (依頼)	はじめまして (慣用表現) 名前 (A) と 言う ます 国名 から 来る た	○	○			

小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能			
				場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く
									ああ(感動詞) です か(終助詞) さん はい よろしく よろしく (慣用句) こちらこそ(慣用表現) わたし 名前(B)					
3102	自己紹介をする													
	3102050 ★ 仕事上の公的な自己紹介をする		あいさつの種類を選択できる 敬語、丁寧体を適切に使用できる 相手の立場に合わせた表現ができる	職場 会議 会合	上司 同僚 顧客 取引先	公的な場にふさわしい自己紹介の仕方を知る	A1: はじめまして、私、〇〇商事の〇〇と申します。(名刺を渡しながらか) どうぞよろしくお願いいたします。 B1: 〇〇株式会社の〇〇です。こちらこそ、よろしくお願いいたします。	間投詞 はじめまして 謙譲語 申します 謙譲語 致します 指示詞 こちら 係助詞 こそ	儀礼(あいさつ) 情報提供 儀礼(あいさつ) 情報提供 儀礼(あいさつ)	はじめまして 私 商事 申します よろしくお願いいたします 株式会社 こちらこそ	○	○		
	3102070 ★ 私的な場面で自己紹介をする		あいさつの種類を選択できる 場面に応じた表現ができる	不特定の場所	初対面の人	簡単な自己紹介の仕方を知る	A1: こんにちは。はじめまして、〇〇です。2週間前に中国の福建省から来ました。家族は、夫と子供が二人います。どうぞよろしくお願いいたします。	間投詞 はじめまして 格助詞 から(起点) 取り立て助詞 は(提題) 格助詞 に 名詞修飾 の 接続助詞 と 格助詞 が	儀礼(あいさつ) 情報提供 儀礼(あいさつ)	こんにちは はじめまして ～週間 前 中国 来る 家族 夫 子供 どうぞよろしくお願いいたします	○	○		
3103	日本の一般的なマナーを理解し、マナーにのって行動する													
	3103150 ★ 分からないとき、疑問に思ったとき信頼できる相手に質問する		知人や友人に分からない点や疑問に思ったことを聞いたり確認したりすることができる 何をしたらいいか質問することができる マナーの本などを調べることができる	家庭 職場 学校	家族 友人 知人 同僚	日本のマナーに添った行動をする必要がある 日本のマナーについて知りたい	A1: 友達の結婚式に行くんですが、お祝いのし袋はこれですか? B1: あっ、それはお香典の袋。結婚祝いはこちらですよ。 A1: この赤と白の…これは何と言うんですか? B1: 水引きです。お祝いは紅白で、お葬式などは黒と白なんです。	名詞修飾 の 格助詞 に 接続詞 が 接頭辞 お(美化語) 格助詞 を 取り立て助詞 は(提題) 指示詞 これ 終助詞 か(疑問) 感動詞 あっ(気付き) 指示詞 それ 指示詞 こっち 終助詞 よ 指示詞 この 副助詞 と 接続助詞 で 疑問詞 何	情報要求 情報提供 注目表示	友達 結婚式 行く お祝い のし袋 お香典 袋 結婚祝い 赤 白 水引き 紅白 お葬式 黒	○	○	○	
33	住民としての手続きをする●													
3301	各種手続(転入・転出・外国人登録等)をする													
	3301020 ☆ 各種手続の種類や内容について理解する													
	3301080 ★ 役所の受付で外国人登録窓口の場所を尋ねる		「外国人登録」の表示を理解することができる 外国人登録の窓口がどこかを聞くことができる 場所の説明を理解することができる	役所のインフォメーション窓口 役所の中	インフォメーション窓口の人 役所の人	外国人登録の窓口を探している 外国人窓口の所在が分からないので質問したい	[窓口 表記例]外国人登録 A1: すみません、外国人登録はどこでできますか。 B1: 外国人登録は4番でしてください。	終助詞 か(疑問) 格助詞 で(場所) 取り立て助詞 は(提題) 可能動詞 できる 指示詞 どこ(場所)(疑問) 動詞テ形+ください	情報要求 情報提供	すみません 外国人登録 どこ できる ～番	○	○	○	

小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能			
				場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く
3302	各種税金(所得税、住民税等)を支払う	3302080 ★ 支払方法を確認する	納付書に書かれた情報を理解することができる 納付方法を聞くことができる 納付方法の説明を理解することができる	役所 家庭 職場	役所の人 友人 知人	税金の納付書が届いたが、どのように支払ったらいのか分からないので質問したい	[納付書 表記例] 税金、納税通知書、納付書、住民税、都民(県民)税、納付期限、取扱金融機関 A1: すみません、この書類が届いたんですけど、ちょっと教えていただけませんか。 B1: 納税通知書ですね。税金を払ってくださいと書いてありません。 A1: どうやって払いますか。 B1: この書類を持って、区役所(市役所)や、銀行へ行ったら、払えますよ。 格助詞 が(主語) 格助詞 を(対象) 格助詞 と(引用) 接続助詞 や(並立) 接続助詞 けど(前置き) 疑問詞 どうやって(方法) 普通形+んです(説明) 動詞テ形+いただけませんか 動詞テ形+ください 動詞テ形+ある 動詞テ形 (付帯) 動詞テ形+たら 動詞可能形	終助詞 か(疑問) 終助詞 か(確認) 終助詞 ね(?) 格助詞 が(主語) 格助詞 を(対象) 格助詞 と(引用) 接続助詞 や(並立) 接続助詞 けど(前置き) 疑問詞 どうやって(方法) 普通形+んです(説明) 動詞テ形+いただけませんか 動詞テ形+ください 動詞テ形+ある 動詞テ形 (付帯) 動詞テ形+たら 動詞可能形	注目要求 情報要求 注目表示(確認) 情報提供 情報要求 情報提供	税金 納税通知書 納付書 住民税 都民(県民)税 納付期限 取扱金融機関 すみません この書類 届く ちょっと 教える 納税通知書 税金 払う 書く 払う 持つ 区役所(市役所) 銀行 行く	○	○	○	
3303	確定申告・還付申告を行う	3303040 ★ 必要性を確認する	確定申告や還付申告が何か聞くことができる 確定申告や還付申告の必要性を確認できる パンフレットや説明書を読んで理解できる	役所 家庭 職場 学校	役所の係員 家族 友人 知人 同僚	確定申告等が何か知りたい 確定申告等が必要か知りたい	A1: 私の場合、確定申告をするといいと聞いたんですが、そうなんですか。 B1: 払い過ぎた税金が戻ってきます。締切に遅れないようにしてくださいね。 名詞修飾 の 格助詞 を 接続助詞 と 格助詞 と 接続助詞 が 指示詞 そう 終助詞 か(疑問) 格助詞 が 動詞テ形+くる 格助詞 に ～ないように 動詞テ形+ください 終助詞 ね	情報要求 情報提供 単独行為要求	私 場合 確定申告 する いい 聞く 払い過ぎる 税金 戻る 締切 遅れる	○	○	○		
34	住民としてのマナーを守る●													
3401	ゴミ出し(ゴミの分け方)について理解する	3401040 ★ 居住地域のゴミ出しについて地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する	生活情報パンフレット、広報、町内の掲示などを読んで、ゴミ出しの仕方を理解することができる 分からない点について人に確認することができる	町内 家庭 職場 学校	友人 知人 家族 同僚	どのゴミをいつどのように出せばいいかを知りたい ゴミの分別の仕方を知りたい	【掲示の例】 可燃ごみ: 週3回(火・木・土) 不燃ごみ: 隔週(水) 資源ごみ: 週1回(月) 粗大ごみ: 粗大ごみ受付センター(TEL: ****-****)に連絡してください	格助詞 に 動詞テ形+ください	単独行為要求	可燃ごみ 週 ～回 火(曜日) 木(曜日) 土(曜日) 不燃ごみ 隔週 水(曜日) 資源ごみ 月(曜日) 粗大ごみ 受付 センター	○	○	○	

小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能			
				場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く
										連絡				
		3401080 ★ 居住地域のゴミ出しの方法について隣人に質問する	隣人に分からないことを質問することができる 隣人の説明を聞いて理解することができる	隣人宅 自宅 居住区内	隣人	ゴミ出しの方法について知りたい	A1: すみません、ゴミはどこに出せばいいですか。 B1: あの角のゴミステーションに、朝8時ごろまでに置いておけばいいですよ。えーと、燃えるゴミと燃えないゴミに分けてからね。出す日が違うから、気を付けて。 A1: はい。	疑問詞 どこ 動詞+ばいい 条件 副助詞 まで 格助詞 に 終助詞 よ (主張) 接続助詞 から 終助詞 ね (確認) 接続詞 から (理由)	注目要求 情報要求 情報提供 単独行為要求 (勸誘) 注目表示 (承認)	すみません ゴミ どこ 出す あの角 ゴミステーション 朝 ごろ 置いておく 燃えるゴミ 燃えないゴミ 分ける 日 違う 気を付けて	○	○		
3402	公共マナー (ポイ捨て禁止、歩きタバコ禁止等) を理解する													
		3402030 ★ マナーについて人に相談する	「ポイ捨て禁止」などの意味を理解できる 公共マナーの各種について質問して理解できる 公共マナーの掲示等を読んで理解できる	職場 学校 街頭	友人 知人 同僚 見知らぬ人	公共マナーについて知りたい 掲示などの説明を理解したい	A1: 建物の中は「全館禁煙」のところがたくさんありますね。外は自由です。 B1: 外でも、道を歩きながらの喫煙、「歩きタバコ」は禁止の地区が多いですよ。	格助詞 の 取り立て助詞 は (提題) 格助詞 が 終助詞 ね 終助詞 か (疑問) 副助詞 でも 格助詞 を 動詞マス形+ながら 終助詞 よ	同意要求 情報要求 情報提供	建物 中 全館 禁煙 ところ 多い 外 自由 道 歩く 喫煙 歩きタバコ 禁止 地区	○	○	○	
35	地域社会に参加する●													
3501	自治会行事に参加・協力する													
		3501040 ★ 居住地の自治会について隣人に尋ねる	自治会について隣人に聞くことができる 自治会の活動に関する説明を理解できる	自宅周辺 隣人の家 自宅	隣人	町内会の会報を見て、興味を持つ 自分も参加したいと思う、隣人に説明を求めたい	A1: すみません、このお知らせについて、教えていただけませんか。 B1: ああ、町内会の会報ですね。〇〇町の町民が集まって、いろいろな活動をしているんですよ。会報には活動のお知らせや報告が載っています。 A1: 面白そうですね。わたしも参加したいんですが。 B1: 会費を払って会員になれば、参加できますよ。	終助詞 か (疑問) 終助詞 よ (強調) 終助詞 ね (語調) 格助詞 が (主語) 格助詞 を (対象) 格助詞 に (対象) 格助詞 に (動作の目的) 名詞修飾 の 複合格助詞 について (対象) 取り立て助詞 は (提題) 取り立て助詞 も (添加) 応答詞 ああ 動詞テ形+いただけませんか 動詞テ形+いる (習慣) 動詞テ形+いる (結果) イ形容詞語幹+そう (様態) 普通形+んです (説明) 動詞仮定形 (順接確定条件) 可能動詞 できる	注目要求 情報要求 注目表示 (確認) 情報提供 注目表示 (興味) 意思表示 情報要求 情報提供	すみません この お知らせ 教える 町内会 会報 ～町 町民 集まる いろいろな 活動 する 報告 載る 面白い わたし 参加する 参加できる 会費 払う	○	○	○	

小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能			
				場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く
									会員 なる					
		3501050 ★ 自治会の会員になる	自治会参加の意思を伝えることができる 参加の方法について質問することができる 申込書などに記入することができる 会費などの説明を読んで理解することができる	家庭 近所 知人 友人	家族 近所の人 知人 友人	自治会に参加したい 必要手続きを知りたい 会員の義務などを知りたい	A1: 私も自治会の会員になりたいのですが。 B1: 大歓迎です。では、申込みの方法や活動、会費などについて説明しますね。	取り立て助詞 も (添加) 格助詞 の 格助詞 に 動詞マス形+たいのですが (依頼) 接続詞 では 格助詞 や 終助詞 ね	意思表示 関係づくり	私 自治会 会員 なる (大) 歓迎 申込み 方法 活動 会費 説明する	○	○	○	○
		3501100 ★ 行事に参加する	行事について情報を得ることができる 行事についての相談に参加できる 行事で分担の作業を行うことができる 行事を通じてほかの会員と交流できる	自治会の会合 行事会場 近所	近所の人 知人 友人	行事について知りたい 行事の準備に参加したい 行事運営に参加したい 行事を通じて交流したい	A1: 日曜日の避難訓練は、朝何時にどこに行けばいいんでしょうか。 B1: 9時に、団地の集会所の前に集まることになっています。	格助詞 の 取り立て助詞 は (提題) 格助詞 に 疑問詞 どこ (場所) 接続助詞 ば 終助詞 か (疑問) 動詞テ形+いる	情報要求 情報提供	～曜日 避難訓練 朝 何時 どこ 行く ～ばいい ～時 団地 集会所 前 集まる	○	○	○	
4 4	余暇を楽しむ●													
4401	外出や余暇の計画を立てる													
		4401010 ☆ 余暇を過ごす場所や利用方法を知る												
		4401070 ★ 適当な人からアドバイスをもらう	外出や余暇の計画について人に相談できる 行きたいこと、したいことの希望を述べられる 分からない点について質問できる パンフレットなどを読んで理解できる 旅行社の申込書などに記入できる	家庭 職場 学校 旅行センター 地域コミュニティー	家族 友人 知人 同僚 旅行者の社員	休日の過ごし方を検討したい 適当な行楽先を知りたい 行き方や費用を知りたい	A1: 今週末は天気よさそうですが、どこか出かけるのにいい所はありますか。 B1: 高尾山はどうですか。電車で1時間半ぐらいで、今は紅葉がきれいですよ。	取り立て助詞 は (提題) 格助詞 が 助動詞 そうだ 接続助詞 が 指示詞 どこ (疑問) 副助詞 か 形式名詞 の 格助詞 に 終助詞 か (疑問) 疑問詞 どう 格助詞 で 終助詞 よ	情報要求 単独行為要求 情報提示	今週末 天気 よい 出かける いい 所 ある 高尾山 電車 時間 今 紅葉 きれい	○	○	○	○
4402	情報 (イベント、娯楽施設、地域のサークル活動等) を収集する													
		4402080 ★ 同僚や周囲の人からの口コミ情報を得る	知人の話から必要な情報を取ることができる 分からない点について質問できる	家庭 職場 学校 地域コミュニティー	家族 友人 知人 同僚	イベントや娯楽施設、地域のサークル活動の情報が得たい	A1: 町内に卓球サークルがあるそうですね。私もやってみたいんですが、上手でないと入れませんか。 B1: 初心者の人もいますから大丈夫ですよ。よかったら一度、見に来てください。 A1: 練習はいつですか。 B1: 火曜と木曜の夜7時から、第一小学校の体育館でやっています。	格助詞 に 格助詞 が 助動詞 そうだ 終助詞 ね 取り立て助詞 も (添加) 助動詞 たい	同意要求 意思表示 情報要求 情報提供 単独行為要求	町内 卓球 サークル ある 私 やる	○	○		

小分類	事例1 (上位項目)	事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能							
				場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く				
4403	地域の公共施設（図書館、スポーツセンター等）を利用する																	
	4403010 ☆ 施設の種類の制度について知る																	
	4403030 ★ 利用方法を尋ねる	自分の希望を伝えることができる 説明の内容を理解することができる 提示された書類等を読んで理解することができる	地域の公共施設	職員	施設の利用方法が知りたい 図書館で本を借りる	A1: この本を借りたいのですが。 B1: 図書カードは持っていますか。 A1: 持っていません。 B1: では、こちらの用紙に必要事項を記入してください。	格助詞 を (対象) 動詞+たいのですが (依頼) 取り立て助詞 は (提題) 終助詞 か (疑問) 指示詞 こちら 動詞テ形+ください 依頼	情報要求 情報要求 情報提供 単独行為要求 (依頼)	本 借りる 図書カード 持っている こちら 用紙 必要事項 記入する		○	○	○	○				
45	郵便・宅配便を利用する●																	
4501	郵便を利用する																	
	4501020 ☆ 郵便局のシステムを理解する																	
	4501100 ★ 手紙や葉書を書いて送る	手紙の形式を知る 伝達したいことを書くことができる 封筒や葉書の宛名の書き方を知る ポスト投函口の表示が理解できる	家庭 職場	友人 知人	仕事に応募するために、履歴書を郵送したい。友人に質問する	[手紙・はがき 表記例] 拝啓、敬具、前路、草々、新緑の候 (季節のあいさつ)、～厳しき折、〇〇様の御健康をお祈り申し上げます (結びのあいさつ)、〇〇△△様、 A1: すみません、履歴書を送りたいんですけど、封筒にどうやって書いたらいいかわからないんです。 B1: 右に住所を書いて、それから、真ん中に会社の名前と担当者の名前を書きます。担当者の名前には「様」と書いてくださいね。郵便番号は右上に書きます。(書いて見せる) A1: 送るのは履歴書だけでいいでしょうか。 B1: 一言、「お願いします」って、短い手紙を付けた方がいいですよ。	終助詞 か (疑問) 終助詞 ね 終助詞 よ (協調) 格助詞 を (対象) 格助詞 に (対象) 格助詞 と (引用) 名詞修飾 の 接続助詞 と (並列) 接続助詞 けど (前置き) 副助詞 だけ (限定) 複合副助詞 って (引用) 取り立て助詞 は (提題) 形式名詞 の 疑問詞 どうやって (方法) 動詞テ形+ら いい 普通体+んです 動詞テ形 (順序) 動詞テ形+ください ～でいい 動詞タ形+ほうがいい ～でしょうか (質問)	注目要求 意思表示 情報要求 情報提供 情報要求 注目表示 (否定) 単独行為要求 (勧告)	すみません 履歴書 送る 封筒 どうやって 分かる 右 住所 書く それから 真ん中 会社 名前 担当者 ～様 郵便番号 右上 だけ 一言 お願いする 短い 手紙 付ける		○	○						

小分類	事例1 (上位項目) 事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能				
			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く	
			郵便局 郵便ポスト			A2: これ、お願いします。 B2: はい、80円です。 A2: 明日着きますか。 B2: はい、明日着きます。 [郵便ポスト 表記例] 手紙、はがき、その他の郵便	終助詞 か (疑問) 応答詞 はい 指示詞 これ (眼前指示)		お願いする ～円 明日 着く 手紙 はがき その他 郵便					
4501120 ★ 不在配達通知に対応する		不在通知が何であるか理解する 不在通知にどのように対応するか理解する	家庭 (電話)	郵便局員	不在通知を受け取ったので、電話をして、再配達を依頼したい	[不在通知 表記例] 郵便物お預かりのお知らせ、電話24時間自動受付、操作方法、御案内、再配達、再配達受付連絡先、社員による受付、インターネット再配達受付、窓口でお受取り配達希望日、～支店、通知書、印鑑、免許証、健康保険証、等、番号 A1: もしもし。 B1: はい。〇〇郵便局です。 A1: あおう、お知らせをもらったんですが。 B1: 「郵便物お預かりのお知らせ」ですね。再配達を御希望ですか。 A1: さいはいはいつ? B1: はい。お宅にいらっしゃる時にもう一度配達します。 A1: ああ。分かりました。明日の午後は家にいます。 B2: それでは、お知らせの左上のお知らせ番号をお願いします。	終助詞 か (疑問) 終助詞 ね (確認) 格助詞 を (対象) 格助詞 に (存在の場所) 格助詞 に (時) 接続助詞 が (終助詞的に文末を省略) 取り立て助詞 は (提題) 名詞修飾 の 応答詞 はい 応答詞 ああ 間投詞 あおう 接頭辞 お (尊敬語) 尊敬語 いらっしゃる お動詞マス形 お預かり (謙讓語) 接頭辞 御 (美化語) 普通体+んです (説明) 接続詞 それでは	儀礼/談話表示 儀礼 (名のり) 注目要求 注目表示 (確認) 同意要求 言い直し要求 言い直し 注目表示 情報提供 談話表示 単独行為要求	もしもし はい 郵便局 あおう お知らせ もらう 郵便物 預かる 再配達 お宅 いらっしゃる ～時 もう一度 配達する ああ 分かる 明日 午後 家 いる それでは 左上 番号 お願いする	○	○	○	○	
4502 宅配便を利用する														
	4502060 ★ 宅配便を受け取る	配達人とのやり取りができる 荷物の送り主の名前を確認できる	自宅	配達人	宅配の荷物を受け取る	B1: こんにちは、宅配便です。お荷物をお届けにありがとうございました。 A1: はい、どうも。 B1: 印鑑がサインをお願いします。 A1: はい。	接頭辞 お (尊敬語) お+動詞マス形+に 謙遜語 あがる 接続助詞 か	儀礼 (あいさつ) 情報提供 注目表示 (同意)	こんにちは 宅配便 荷物 お届け 上がりました 印鑑 サイン お願いします	○	○	○		
46 インターネットを利用する●														
4602 ネット検索する														
	4601010 ☆ インターネットのサービス内容・利用方法を理解する													
	4602040 ★ インターネット検索の方法を人に尋ねて理解する	インターネット検索方法を人に聞くことができる インターネット検索方法の説明を理解することができる	家庭 図書館 職場 ネットカフェ	家族 知人 友人 係員	インターネットを使って必要な情報を得たい インターネットブラウザに日本語を入力して検索をしたい	A1: すみません、インターネットでこの病院について調べたいんですが、どうしたらいいですか。 B1: まず、ここをクリックしてブラウザを起動します。次に検索エンジンのページに行って、・・・このボックスに病院の名前を入力してください。 A1: どうしたら日本語が入力できるんですか。 B1: このキーを押すと、日本語入力が切り替わられます。 A1: (ひらがなを入力する) すみません、どうやって漢字に変えますか。 B1: スペースキーを押すと漢字に変わります。正しい漢字だったら、エンターキーを押して、漢字を確定してください。	終助詞 か (疑問) 格助詞 で (手段) 格助詞 を (対象) 格助詞 に (到着点) 格助詞 に (対象) 格助詞 に (変化の結果)	情報要求 情報提供/単独行為要求 情報要求 情報提供 情報要求 情報提供/単独行為要求	すみません インターネット この 病院 について 調べる	○	○	○	○	

小分類	事例1 (上位項目) 事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能						
			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く			
					<p>A1: (スペースキーを押す) 漢字が違う場合はどうすればいいですか。</p> <p>B1: もう一度スペースキーを押すと、漢字の一覧が出ますから、スペースキーか番号キーを押して、正しい漢字を選んでください。</p>	<p>格助詞 が (状態の対象)</p> <p>接続助詞 と (順接恒常条件)</p> <p>接続助詞 から (順接確定条件・理由)</p> <p>副助詞 か (選択)</p> <p>連体詞 この (眼前指示)</p> <p>複合格助詞 について (対象)</p> <p>疑問詞 どうやって (方法)</p> <p>疑問詞 どう (方法)</p> <p>普通形+んですが (説明)</p> <p>動詞タ形+らい いい</p> <p>動詞テ形+ください</p> <p>動詞タ形+ら ~か</p> <p>~たら、</p> <p>~場合は、~</p> <p>動詞条件形+いい</p> <p>接続助詞 まず</p> <p>接続助詞 次に</p> <p>動詞マス形+たい</p> <p>指示詞 ここ (場所)</p> <p>可能動詞 できる</p> <p>名詞修飾 の</p>	<p>情報要求</p> <p>情報提供/単独行為要求</p>	<p>まず</p> <p>ここ</p> <p>クリックする</p> <p>ボックス</p> <p>名前</p> <p>入力する</p> <p>日本語</p> <p>できる</p> <p>キー</p> <p>押す</p> <p>漢字</p> <p>変わる</p> <p>正しい</p> <p>エンターキー</p> <p>確定する</p> <p>違う</p> <p>もう一度</p> <p>一覧</p> <p>出る</p> <p>番号キー</p> <p>選ぶ</p>								
				パソコンの使用言語語を切り替えて、母語で検索をしたい	<p>A2: すみません、このパソコン、ハンゲルが打てますか。</p> <p>B2: ええ、打てますよ。コントロールパネルの「地域と言語のオプション」で韓国語を選択してください。</p> <p>A3: すみません、このパソコン、ハンゲルが打てますか。</p> <p>B3: いいえ、インストールしていないので、日本語と英語しか打てないんです。</p>	<p>連体詞 この (眼前指示)</p> <p>終助詞 か (疑問)</p> <p>終助詞 よ</p> <p>格助詞 が (状態の対象)</p> <p>格助詞 で (手段)</p> <p>格助詞 を (対象)</p> <p>応答詞 ええ</p> <p>応答詞 いいえ</p> <p>名詞修飾 の</p> <p>取り立て助詞 しか (限定)</p> <p>動詞可能形</p> <p>動詞テ形+ください</p> <p>普通形+んです (説明)</p> <p>接続助詞 と (並立)</p> <p>動詞テ形+いる</p> <p>接続助詞 ので</p>	<p>情報要求</p> <p>情報提供/単独行為要求</p> <p>情報提供</p>	<p>すみません</p> <p>この</p> <p>パソコン</p> <p>韓国語</p> <p>打つ</p> <p>コントロールパネル</p> <p>地域</p> <p>言語</p> <p>オプション</p> <p>選択する</p> <p>ええ</p> <p>いいえ</p> <p>日本語</p> <p>英語</p> <p>インストール</p>								
4603	電子メールを利用する															
	4603090 ★ 電子メールを書く	<p>メールの書き方について本から情報を得られる</p> <p>メールの書き方について人から情報を得られる</p> <p>メールを作成することができる</p>	<p>家庭</p> <p>職場</p> <p>学校</p>	<p>家族</p> <p>友人</p> <p>知人</p> <p>同僚</p>	<p>電子メールを書きたい</p>	<p>A1: 来週の会合のこと、皆さんにお知らせのメールを書きました。</p> <p>B1: ありがとう。私にも「Cc.」で送っていただけますか。</p> <p>A1: 「宛先」と「Cc.」はどう違いますか。</p> <p>B1: もともとの送り先ではないけれど、見てもらいたい相手に使います。</p>	<p>格助詞 の</p> <p>格助詞 に</p> <p>格助詞 を</p> <p>取り立て助詞 も</p> <p>格助詞 で</p> <p>動詞テ形+くれる</p> <p>格助詞 と</p> <p>取り立て助詞 は (提題)</p> <p>疑問詞 どう</p> <p>接続助詞 けれど</p> <p>動詞テ形+もらう</p> <p>助動詞 たい</p>	<p>情報提供</p> <p>関係作り</p> <p>情報要求</p>	<p>来週</p> <p>会合</p> <p>皆さん</p> <p>お知らせ</p> <p>メール</p> <p>書く</p> <p>ありがとう</p> <p>私</p> <p>Cc. (シーシー)</p> <p>送る</p> <p>宛先</p> <p>違う</p> <p>もともと (の)</p> <p>送り先</p> <p>見る</p> <p>~てもらいたい</p>	○	○	○	○			

小分類	事例1 (上位項目) 事例2 (下位項目)	能力記述	場面			やり取りの例	文法	機能	語彙	四技能				
			場所	相手	状況・動機					話す	聞く	読む	書く	
47 電話・ファクシミリを利用する●														
4701 電話・ファクシミリを発信する														
	4701100 ★ 電話をかける	相手呼び出してもらい 言語のみで説明できる	自宅 職場	家族 友人 知人 同僚	電話で用件を伝える	A1: もしもし、〇〇さんのお宅ですか。 B1: はい、そうです。 A1: △△と申しますが、□□さんお願いします。 B1: はい。ちょっとお待ちください。	間投詞 もしもし 終助詞 か(疑問) 謙譲語 申します お+動詞マス形+ください 依頼	注目要求 注目表示(同意) 単独行為要求(依頼) 注目表示(承認) 単独行為要求(依頼)	もしもし お宅 申す お願いします ちょっと お待ちください	○	○			
4702 電話・ファクシミリを受信する														
	4702070 ★ 応答する	適切な電話の受け答えができる ファクシミリの内容が理解できる 電話の取次ぎ、伝言の受け方に関する表現を知っている 相手の話を理解することができる	自宅 職場	家族 知人 友人	電話で用件を聞き取る ファクシミリを読み取る	B1: もしもし、管理人ですが、201号室のソンさんですか。 A1: はい、ソンです。 B1: 荷物が届いているので、管理人室まで取りに来てください。 A1: はい、今行きます。	間投詞 もしもし 終助詞 か(疑問) 接続詞 ので(理由) 副助詞 まで 動詞テ形+くなる はい	注目要求 情報要求 単独行為要求(依頼) 注目表示(承認)	もしもし 取りに来る 管理人 今 行く ～号室 荷物 届く 管理人室	○	○			
48 マスメディア等を利用する●														
4801 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネットから情報を収集する														
	4801080 ★ テレビ番組を見る	テレビ番組を視聴して情報を収集できる 画面のテロップなどを読んで理解できる 番組表から、見たい番組を探すことができる	家庭	家族 友人 知人	テレビを見て情報を得た テレビを見て楽しみたい	A1: 今日は相撲の千秋楽ですね。だれが優勝したのかな。 B1: そうですね。どこかでスポーツニュースをやっているはずですよ。 A1: (番組表を見ながら) ああ、10時から〇チャンネルでやりますね。	取り立て助詞 は(提題) 名詞修飾 の 疑問詞 だれ 終助詞 かな 副詞 そう 終助詞 ね 疑問詞 どこ 副助詞 か 格助詞 で 格助詞 を 動詞テ形+いる 形式名詞 はず 終助詞 よ 格助詞 から 感動詞 ああ(気付き)	同意要求 情報要求 注目表示 情報提供	今日 相撲 千秋楽 だれ 優勝する スポーツニュース やる 時 チャンネル	○	○	○		

☆印が付された「生活上の行為」の事例のうち、解説の記述を行ったものについて

<p>0801030 ☆ 目的によって店舗の種類を使い分けることを知る</p>	<p>店舗には様々な種類がありますので、目的によって賢く使い分けをしましょう。すぐに必要なものは近所の八百屋、肉屋、パン屋、果物屋、菜屋、電器屋、花屋などの小売店で買うとよいでしょう。町の商店街には食料品のほか、靴、衣類、家具など種類別にいろいろな店があります。店の人と仲良くなって、会話を楽しむこともできます。時には定価より、まけてくれることもあるでしょう。</p> <p>コンビニエンスストアは、年中無休で長時間開いている小型の店舗です。飲み物やサンドイッチ、おにぎり、お弁当などの食品と日用品を中心に扱っています。「100円ショップ」と言って、日用品や加工食品、文具など原則として、商品1点につき、100円(税抜き)均一で販売している店もあります。</p> <p>肉、魚、野菜などの生鮮食品は、スーパーマーケットやデパートの地下で大量に扱っています。地域によっては、「市場」で買うこともできます。そこでは、いろいろな種類の中から選び、新鮮なものを比較的安く買うことができます。スーパーマーケットにはそのほか、日用品、衣料、家電、酒類などいろいろなものを大量に扱っていますので、比較的安く買うことができます。</p> <p>デパートでもいろいろな商品を大量に扱っていますが、ブランド物やメーカー品など高級商品も扱っています。通常は、安くありませんが、バーゲンセールするときには安く販売しています。テレビ、カメラ、パソコン、冷蔵庫などの家庭用電気製品を専門に大量に扱っている店舗もあります。デザイン、型、価格など希望に合わせて手に入れることができます。「ドラッグストア」では薬、化粧品、日用品を中心に、販売しています。最近では食品などを扱う店も出てきました。</p> <p>郊外には大規模ショッピングセンターが進出し、商品を大量に扱い、安く販売しています。広い駐車場を完備していますので、車で行って、大量に安く、買い物をするには便利です。また、流行遅れや半端もののメーカー品や高級ブランド品を安く販売しているアウトレットモールも出てきています。</p>	<p>3101020 ☆ TPOに合った適切なあいさつ形式を理解する</p>	<p>あいさつに用いる言葉には、そのあいさつの用向きや場面に合った言語表現が用いられる。その言語表現について特に留意すべきは、それぞれのあいさつ場面ごとに多かれ少なかれ定型化した、決まり文句のように用いられる表現があるということである。言うまでもなく実質的な内容のある情報を伝えるあいさつには、その内容や用向きにふさわしい言葉が選ばれる。例えば、祝い事であれば「おめでとう(ございます)」「お慶び申し上げます」など、お礼であれば「ありがとう(ございます)」、お詫びであれば「申し訳ございません」「すみません」などである。</p> <p>一方、実質的な内容を伝えるというより、言葉を交わすことにより人間関係を良好に保つ目的のあいさつでも、朝は「おはよう(ございます)」、夕方や夜は「今晩は」、食事の始まりは「いただきます」、終わりは「ごちそうさま」などの定型的な表現が用いられる。このあいさつ言葉の定型性は、ほかの言語社会にも見られるが、日本語社会でも顕著であって学習や教育において特に留意すべきことだからである。</p> <p>同じような場面で用いるあいさつ言葉にも、相手との人間関係やその場の改まりの程度などによる多様性が見られる。例えば、お礼の言葉では「謹んで御礼申し上げます」「ありがとうございます」「ありがとう」「サンキュー」など、日常の別れのあいさつでは「それではこれで失礼いたします」「ごきげんよう」「さようなら」「さいなら」「それでは」「それじゃ」「じゃ」などのように多様である。すべての学習者が多様な表現に習熟することは不要であるとしても、TPOに沿ったあいさつの型があること自体には留意すべきだろう。</p> <p>あいさつに関して、もう一つ留意すべきは、言語表現に伴う身振り、身体接触、姿勢、表情などの非言語的行動である。そのうちでも、日本語社会のあいさつに重要な役割を果たすのは、「お辞儀」と呼ばれる上半身と頭部の前屈の身振り・姿勢である。これは、あいさつの種類や目的、込める気持ち(祝い・礼・わびなど)の深さなどに応じて、前屈の角度の浅さ・深さが 変わり、それに添えられる上肢(腕や手)の位置、さらに表情などが変わる。</p> <p>この他に、西欧社会など他の言語社会で多く見られる握手、抱擁、接吻などが、日本語社会では相対的には少なく、限られた場面や相手だけに用いられることにも留意する必要がある。</p>
<p>0803010 ☆ 店ごとに受けられるサービスと代価を理解する</p>	<p>小分類08「物品購入・サービスを利用する」のうち、「0801 対面販売で購入する」は、基本的にお金を代価として払い、具体的な品物を買うという行為であり、また「0802 飲食店を利用する」は代価を払って食べ物を作ってもらい食事する行為である。これに対して、「0803 各種サービスを利用する」は、具体的な品物や食べ物を買うのではなく、代価を払って色々なサービスを受ける行為である。生活上必要だけれども自分ではできない様々なことを、専門的な技術を持った人や設備を備えた店に頼んでしてもらって必要を満たす行為であり、いわば「サービスを買う」消費活動である。</p> <p>これらのサービスには、大きく分けると2種類ある。一つは、そのサービス自体を専門とする人や店から受けるサービスで、例えば、クリーニング、理髪(パーマ、散髪)、銭湯、コインランドリー、CDやビデオのレンタル、宅配便、写真の撮影や現像・焼付、自転車や時計の修理などである。もう一つは、品物を購入した時に追加的に受けるサービスで、例えば、買った品物の配送、寿司やソバの出前、贈答品の特別な包装、冷蔵庫やテレビの据え付けや配線、買った魚を刺身にしてもらい、買ったコーヒー豆をひいてもらうなどのサービスである。</p> <p>これらのサービスは、多くの場合、有料である。前項の2種類のうち、クリーニングなど専門的な技術や道具を必要とする前者のグループはもちろんだが、物品購入に伴う後者のサービスも多くの場合は代価が必要である。その一方で、魚を刺身にする、コーヒー豆をひくなど比較的軽い内容の追加サービスは無料の場合もある。ただし、有料か無料かは、店やサービスの質・量によって変わるので、その都度注意して、あらかじめ店員に確かめることが必要である。</p> <p>生活する地域社会の中で、どのようなサービスが、どんな店や場所で、どんな人から受けられるのかということは、国や地域社会によって異なる。母国と日本の違い、日本の中でも大都市とそうでない地域との違いなどがあることを前提として、実際に暮らす地域社会で必要なサービスを受けるための情報を得ることが大切である。近隣の知人に聞いたり、自治体や商店会から情報を得たりする工夫が必要である。</p> <p>近年の日本国内では、インターネットを活用した消費活動が定着している。この中には、具体的な品物を注文し購入し決済するという購買活動そのものではなく、様々なサービスを受けることも含まれている。例えば、購入したい商品について製造元に尋ねて情報を得る、鉄道会社のサイトで交通経路、運行状況、空席情報を調べる、パソコンや電化製品の使用方法などマニュアル情報をインターネットを通じて得るなどは、大分類10「情報を収集・発信する」という行為を通じたサービスの受け方と言える。</p>	<p>3101040 ☆ あいさつの文化的相違を理解する</p>	<p>言語社会によってあいさつに文化的な相違があることはしばしば指摘され、日常的にも経験される。日本語の学習や指導においても留意すべきことだからである。あいさつの言語表現に関する文化的な相違として注意すべきことだからとして、一つ一つのあいさつ言葉の表す意味の異同がある。特に、朝夕のあいさつ、日常の出会いや別れのあいさつなど、実質的な内容を伝えることを主眼とせず、あいさつ言葉を交わすこと自体で良好な人間関係を維持するという種類のあいさつ言葉には、もともとの意味を既に失いかけた化石化した言語表現がそれぞれの言語社会で用いられる場合が多い。</p> <p>こうしたあいさつ言葉の元々の意義は、改めてさかのぼると実に多様である。例えば「さようなら」「こんにちは」「おめでとう」などを意味する諸言語のあいさつ言葉を例にして考えると、このことが理解できるだろう。</p> <p>あいさつを、どのような場面で、どのような事柄について、どのような相手に向かってするのかということについても、言語社会による文化的な相違がある。例えば、日本語では、食事を始める時(いただきます)と終える時(ごちそうさま)や、家を出かける時(行ってきます/行ってらっしゃい)と帰った時(ただいま/おかえりなさい)には、定型化した言語表現と共にあいさつ言葉を発するという定型性が見られる。ある調査(国立国語研究所による)では、ドイツ語社会ではこれらの場面でのあいさつ言葉は非常に多様であって、あいさつ言葉を発すること自体の定型が日本語社会に比べて希薄だという差異が観察された。あるいは、例えばエレベーターに乗り合わせた見知らぬ人に会釈や微笑みを送ったり、短いあいさつ言葉を掛けたりするのは、多くの欧米社会で普通に観察されることであるのに比べて日本語社会ではむしろまれである。場所や相手との関係によるあいさつ習慣の差異だと言える。</p> <p>あいさつの言語表現に伴う身振りや身体接触など非言語的な行動について文化的な差異が大きいことも留意すべきである。前(3101020)で触れたとおりである。これと同じように、言語表現に伴うことからあいさつの文化的差異として留意すべきものは少なくない。例えば、あいさつ言葉を発する際の声の大小(強弱)にも言語社会による異同が指摘される。東南アジア(タイやベトナムなど)では、レストランなどの店員が客に大声で呼びかけることは少ないようで、日本でも「威勢の良さ」を演出するかのようによく客を迎え入れる店員の大声は、そうした言語社会から来た人に不快感や違和感を与えるものだという(国立国語研究所調査から)。</p>
<p>3101010 ☆ あいさつの種類と目的を理解する</p>	<p>あいさつと呼ばれる生活上の行為には、いくつかの種類とそれぞれの目的があることに留意する必要がある。大別すると、実質的な内容のある情報を伝えることが目的のあいさつと、実質的な内容の情報を伝えるのではなく、あいさつを交わす人同士の人間関係を良好に維持することが目的のあいさつとに分かれる。前者には、例えば、引越しや店舗開業を知らせるあいさつ、冠婚葬祭の日時や場所を知らせて出席などを依頼するあいさつ、出産・入学・卒業・就職などを知らせたり祝ったりするあいさつなどがある。また後者には、日常生活の中の朝・昼・夕・夜のあいさつ、道で人と出会ったり別れたりする時のあいさつ、食事を始める時や終える時のあいさつ、取り立てて伝える用件を含まない年賀状や暑中見舞い状のあいさつなどがある。</p> <p>前者のあいさつは、印刷されたり手書きされたりした書き言葉によって相手に届く・送られる場合や、改まった儀式的な場面で文字通り改まった言語行動として行われる場合などが多い。そのあいさつの中で表現され伝えられるのは、招待、祝賀、弔問など、生活の中での重要な相手への働きかけである。</p> <p>これに対して、後者のあいさつは、たとえば「こんにちは」「さようなら」「じゃ、またね」など、その言葉自体によって伝わる実質的な情報内容は希薄なものであって、そうした言葉を相手にかけ、相手からもそれに対応する言葉を受けるといった言葉のやりとり自体が意味を持つ。そうしたやりとりによって、相手との良好な人間関係を開始したり持続したり収束させたりするのが目的のあいさつである。後者は、実質的な情報を伝えるとは言えないものであるだけに、それぞれの場面ではあいさつするものであるという言語習慣を意識的に理解したり習得しないと、実際のあいさつをする言語行動が定着しにくいと言える。日本語の学習や指導の留意点であるゆえんである。</p>		